電源バックアップ装置

UPS 250

取扱説明書

http://www.corega.co.jp/

PN J613-M7069-00 Rev A 010325

はじめに

この度は、「corega UPS 250」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。この取扱説明書は本製品、および本製品に付属の自動シャットダウンソフト「Power Credit」を正しくご使用いただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただくために、保証書とともに大切に保管していただきますようお願いいたします。

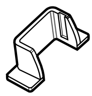
内容物をご確認ください

本製品のパッケージ内容は、下記のとおりです（下記以外に添付紙が同梱されている場合があります）。お買い上げ商品についてご確認いただき、万一不足するものがございましたらお手数ですが、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

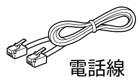
●取扱説明書（本書：製品保証書も兼ねております）
●corega UPS 250
・corega UPS 250 本体
・モジュラーケーブル（1本）
・2P-3P変換アダプタ（1個）
・縦置きスタンド（1個）



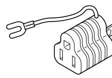
取扱説明書



スタンド



電話線
（モジュラーケーブル）



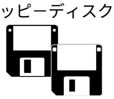
3P-2P変換プラグ

●自動シャットダウンソフト(Power Credit)
・Power Credit インストール用
フロッピーディスク（2枚）
・接続用9ピンシリアルケーブル（1本）

接続
ケーブル



インストール用
フロッピーディスク

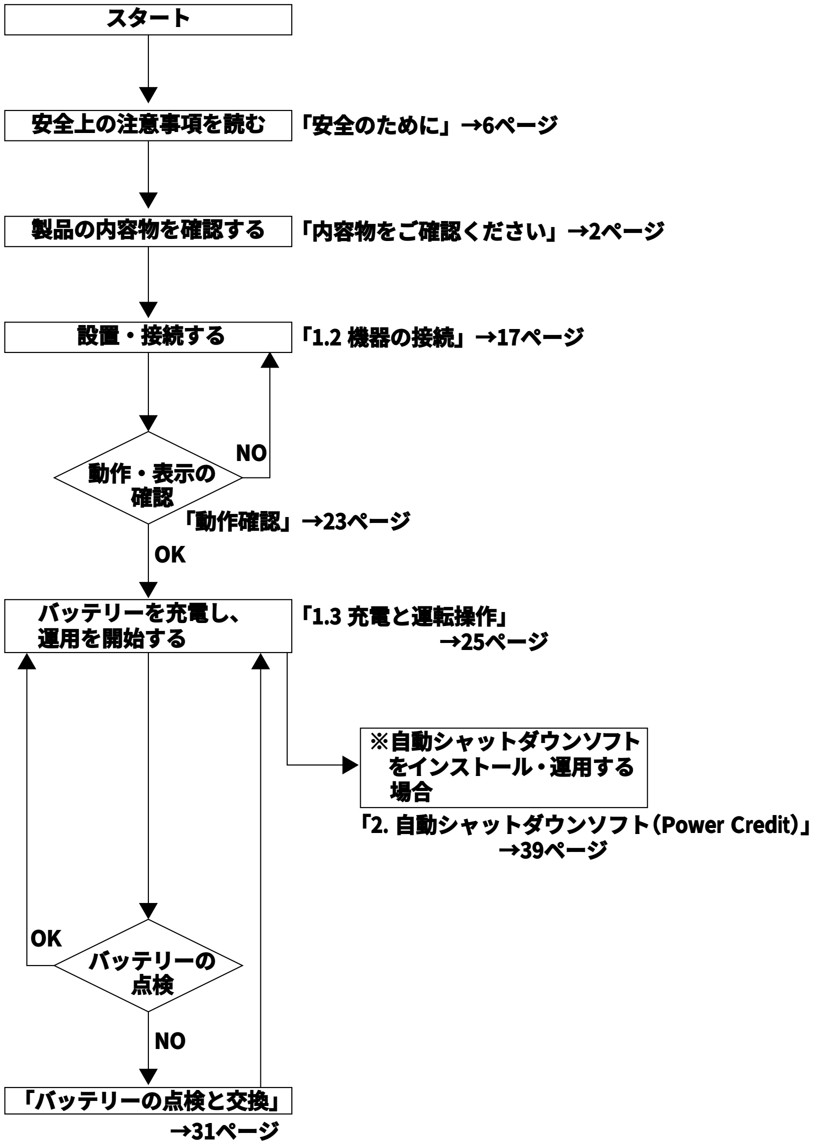


はじめに

取扱説明書について

本書では、本製品「UPS 250」と添付されている「自動シャットダウンソフト（Power Credit）」の説明がそれぞれ２つの章に分かれています。その他必要に応じて参照していただくための情報が「付録」に記載されています。

主な作業と本書の構成



目次

目　次

安全のために

本機を安全に使用していただくために重要なことがらが書かれています。設置やご使用開始の前に必ずお読みください。

UPS 250の用途について

- UPS 250はパソコンなどのＯＡ機器に使用することを目的に設計・製造されています。以下のような、極めて高い信頼性や安全性が要求される用途には使用しないでください。
  - ・人命に直接関わる医療用機器
  - ・人身の損傷に至る可能性のある用途。（航空機、船舶、鉄道、エレベータなどの運行、運転、制御などに直接関連する用途
  - ・車載、船舶など常に振動が加わる可能性がある用途。
  - ・故障すると社会的、公共的に重大な損害や影響を与える可能性のある用途。(主要な電子計算機システム、幹線通信機器、公共の交通システムなど)
  - ・これらに準ずる機器
- 人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置などについては、システムの多重化、非常用発電設備など、運用維持、管理について特別な配慮が必要となります。
- 本説明書記載の使用条件・環境などを遵守してください。
- 特に信頼性の要求される重要なシステム等への使用に際しては、弊社サポートセンターへご相談ください。
- 装置の改造・加工はおこなわないでください。
- UPS 250は日本国内向け仕様です。外国 (日本国外) で使用しないでください。
  - ・電源の電圧や周波数が違う場合が多く、故障したり、火災を起こすことがあります。
  - ・海外の安全規格や電磁波障害などの規格／規制には対応していません。
  - ・入力電源は、AC100V (50Hz/60Hz)の商用電源を使用してください。

安全上のご注意

安全に使用していただくために重要なことがらが書かれています。
設置やご使用開始の前に必ずお読みください

この取扱説明書の安全についての.記号と意味は以下の通りです。

記号	区分	意味
◇!	**危　険**	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
△!	**注　意**	誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり、物的障害の発生が想定される内容を示します。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜、ペットに係わる拡大損害を示します。

⊘ ：禁止（してはいけないこと）を示します。例えば ⊘ は分解禁止を意味しています。

● ：強制（必ずしなければならないこと）を示します。例えば ● はアースの接続が必要であることを意味します。

なお、注意に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性もあります。

危　険

本製品を、下記のような極めて高い信頼性や安全性が求められる用途に使用しないで下さい。（本製品は、パソコンなどのOA機器に使用することを目的に設計・製造されています）

● 人命に直接関わる医療機器やシステム。
● 人身の安全に直接関連する用途。（例：車両・エレベータなどの運行、運転、制御など）
● 故障すると社会的、公共的に重大な損害を与える可能性のある用途。（例：主要なコンピュータシステム、幹線通信機器など）
● 上記に順ずる用途。

注　意

重量・バランスに注意して運搬し、安定のよい頑丈な場所に置いて使用すること。

● 転倒や落下するとけがをすることがあります。
● UPS 250の重量は約2.5Kgです。

梱包のポリ袋は幼児の手の届かない場所に移すこと。

●小さいお子様がかぶったりすると、呼吸を妨げる危険性があります。

UPS 250の入力プラグは必ずAC100V(50/60Hz)の電源コンセント（商用電源）に接続すること。

●電圧の違う電源コンセント（商用電源）に接続すると、火災を起こすことがあります。
●UPS 250が故障することがあります。

10A以上の電流容量のある電源コンセント(商用電源)に接続すること。

●電源配線が発熱することがあります。
●出力容量最大限の機器を接続した場合、最大で10Aの電流が流れます。

アース接続(接地)を確実に実施すること。

●電源コンセントが3Pの場合UPS 250の「AC100V入力」プラグをそのまま差し込んでください。
故障や漏電があった場合に感電することがあります。
●「AC100V入力」プラグに2P-3P変換アダプタをご使用の場合、アース接続（接地）は必ず「AC100V入力」プラグを電源コンセント（商用電源）に接続する前におこなってください。
またアース接続(接地)を外す場合は必ず「AC100V入力」プラグを電源コンセント（商用電源）から抜いておこなってください。
●回線サージ保護を機能させるために、アースに接続してご使用ください。

分解、修理、改造をしないこと。

●感電したり、火災を起こす危険があります。

指定外の方向で設置しないこと。

●転倒や落下するとけがをすることがあります。

上にものを乗せないこと。

●ケースのゆがみや破損により火災を起こすことがあります。

最高気温が40℃を超える場所で使用しないこと。

●バッテリーが急速に劣化し、火災などを起こすことがあります。

●UPS 250が故障したり、誤動作を起こすことがあります。

下記のような場所で設置や保管をしないこと。

●湿度が10%よりも低い／湿度が85%よりも高い／隙間のないキャビネットなど密閉した場所／可燃性ガスや腐食性ガスがある／屋外など。

●火災などの原因になることがあります。

密閉した場所で使用したり、カバーを掛けたりしないこと。

●異常な発熱や火災を起こすことがあります。

UPS 250の出力容量を超える機器を接続しないこと。テーブルタップ等で接続機器の増設を行なえますが、この場合はテーブルタップ等の電流容量を超える機器を接続しないこと。

●「停電時バックアップする」電源出力はオーバーロードを検出し、出力を停止します。

●UPS 250の電流保護が作動し、出力を停止することがあります。

●テーブルタップの配線が発熱し、火災を起こすことがあります。

濡らしたり、水をかけないこと。

●感電したり、火災を起こすことがあります。

寿命が尽きたバッテリーはすぐに交換するか、UPS 250の使用を中止すること。

●使用を続けると火災を起こすことがあります。

周囲温度	期待寿命
20℃	2～3年
30℃	1～1.5年

※左の表は標準的な使用条件での期待寿命であり、保証値ではありません。

「AC100V入力」プラグのほこりは、時々乾いた布でふき取ること。

●長期間ほこりが付着したままにしておくと火災の原因となることがあります。

変な音や臭いがした、煙が出た、内部から液体が漏れた時は、すぐにUPS 250の電源スイッチを切り「AC100V入力」プラグを電源コンセント(商用電源)から抜くこと。

●このような状態で使用すると火災を起こすことがあります。
●このような状態になったら絶対に使用せず、お買い求めの販売店か当社に点検・修理を依頼してください。
●使用時は異常発生時にすぐに「AC100V入力」プラグを電源コンセント(商用電源)から抜ける状態にしておいてください。

内部から液体が漏れたら、液体にさわらないこと。

●失明したり、火傷をする危険があります。
●目や皮膚に付いてしまったら、すぐに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診察を受けてください。

接続機器の保守を行う場合は必ずUPS 250の「電源」スイッチを切り、停止した状態で行うこと。

●「バックアップする」側の電源出力はバックアップ電源が運転状態のときに「AC入力プラグ」を抜いても出力は停止せず、コンセントからAC100Vが供給されます。

バックアップ電源を不燃ゴミとして廃棄しないこと。

●鉛バッテリーを内蔵していますので地方自治体等の条例や指導に従って正しく処理してください。

バックアップ電源を火の中に投棄しないこと。

●鉛バッテリーを内蔵していますので、バッテリーが爆発したり、希硫酸が漏れたりすることがあります。

バッテリーの交換作業は安定した、平らな場所で行うこと。

●バッテリーは落下しないよう、しっかりと保持してください。
●落下によるけが、液洩れ(酸)によるやけどなどの危険があります。

指定以外の交換バッテリーは使用しないこと。

●火災の原因となることがあります。
●商品形式：BP25XT(オムロン製)

可燃性ガスがある場所でバッテリー交換をしないこと。

●バッテリーを接続する際、火花が飛び、爆発・火災の原因になる恐れがあります。

バッテリーを落下させたり、強い衝撃をあたえないこと。

●希硫酸が漏れたりすることがあります。

バッテリーを金属物でショートさせないこと。

●感電、発火、火傷の恐れがあります。
●使用済みバッテリーでも内部に電気エネルギーが残っています。

ご使用にあたってのお願い

本機を正しく安全にご使用いただくために、守っていただきたいことが書かれています。

使用開始の前に

寒い場所から暖かいところへ移動された直後は、数時間放置してから使用開始してください。

●急に暖かいところへ移動すると水分が付着し（結露）、そのまま通電すると故障することがあります。

購入されましたら、早めに充電（12時間以上）してください。

●「AC100V入力」プラグを電源コンセント（商用電源）に差し込むことでバッテリーを充電できます。なお、ご購入後長期間使用しないでいると、バッテリーの特性が劣化し、使用できなくなることがあります。

設置と接続について

本機を直射日光の当たる場所に設置あるいは保管しないでください。

●温度上昇により内蔵バッテリーが急速に劣化し、使用できなくなることがあります。

回線サージ保護の「回線・ハブ側」と「モデム・TA・PC側」の接続を逆にしないでください。

●保護回路が故障したときにISDN回線等に傷害を与える可能性があります。

本機の出力ライン間のショート（短絡）、および出力ラインをアースにショート（地絡）しないように注意してください。

●本機が故障することがあります。

バックアップ運転中に本機の「AC100V入力」プラグを本機の「停電時バックアップする」側の電源出力コンセントに差し込まないでください。

●本機が故障することがあります。

ページプリンタ（レーザープリンタなど）を本機に接続しないでください。

●ページプリンタはピーク時の電流が大きく、接続容量オーバーを検知したり、瞬時電圧低下による停電検出をすることがあります。
●商用運転、バックアップ運転を頻繁に繰り返し、バッテリー寿命が短くなります。

本機は10msec（0.01秒）以下の瞬間停電で不具合の発生する機器には使用しないでください。

●10msec.以下の切替時間が発生するため、接続機器が停止する可能性があります。

本機は蛍光灯などの誘導性の機器には使用しないでください。

●誘導性の機器とは、入力にトランス、コイル、モーターなどを内蔵している機器です。矩形波出力のため、接続機器が停止する可能性があります。

日常の運用方法について

●本機の「電源」スイッチは、入れた（運転状態）ままにしても、接続されているシステムの停止のたびに切ってもどちらでも問題なくご使用いただけます。お客様のご都合の良い方法で運用してください。なお、接続機器を長期間使用しないときは「電源」スイッチを切っておくことをお勧めします。

バックアップ動作終了について

●停電時間が長くなるとバッテリーが放電し、本機からの電源出力が停止します。

●本機が電源を供給している間にパソコンを正しい手続きで終了（データをセーブするなどの処置）するようにしてください。

再起動について

●停電中にバッテリーが放電してしまうと本機は停止します。その後停電などの電源異常が回復すると、本機は自動的に再起動し電源を供給します。本機の「停電時バックアップする」電源出力コンセントに接続されている機器を動作させたくないときは、本機の「電源」スイッチ、あるいは機器のスイッチを切っておいてください。

商用電源を切る前に、本機の「電源」スイッチを切ってください。

●「電源」スイッチを切れないときは、自動シャットダウンソフトなどを使用して必要最小限のバックアップ時間で本機を自動停止する方法をお勧めします。

●商用電源を停止するとバックアップ運転になります。商用電源を停止しバッテリーを放電し切ってしまうような使い方で充放電を頻繁に繰り返すと、バッテリーの寿命は著しく短くなり、繰り返しの充放電量が少ないほど寿命への影響が少なくなります。

本機を保管する場合

●本機を保管される場合は12時間以上充電し、「電源」スイッチを切ってください。バッテリーは使用しない場合でも自然放電し、長時間放置しますと過放電状態となりバックアップ時間が短くなったり、使用できなくなることがあります。

●内蔵されたバッテリーの保管可能期間は、完全充電状態から6カ月です。
保管期間が6カ月を超える場合、6カ月以内に本機の「AC100V入力」プラグを12時間以上商用電源コンセントに接続し、保管中は「電源」スイッチを切ってください。

バッテリーの処分について

●不要バッテリーは不燃物として処理しないでください。
●鉛バッテリーはリサイクル資源です。交換後の不要バッテリーの処分については、地方自治体等の条例や指導に従って正しく処理してください。

お手入れについて

本機の汚れを落とすには

柔らかい布に水または洗剤を含ませ固く絞り、軽く拭いてください。

●シンナー、ベンジン等の薬品は使用しないでください。変形変色の原因になります。

電源プラグのほこりを取り除くには

① 接続機器および本機の「電源」スイッチを切ってください。
② 「AC100V入力」プラグを商用電源コンセントから抜き、プラグの周囲を乾いた布で拭いてほこりを取ってください。
③ 接続機器のACプラグを本機から抜き、乾いた布で清掃してください。
④ 接続機器のACプラグを本機に元のように接続し、本機の「AC100V入力」プラグを商用電源コンセントに接続してください。

「1.2 機器の接続」参照 ？？ページ

1 UPS 250

1.1 製品概要

corega UPS 250は250VA/168wのバックアップ出力が可能な電源バックアップ装置です。停電、エアコンや冷蔵庫が動き始めたときに起きる電圧降下、雷によるサージ(異常高電圧)などの電源異常からパソコンをガードします。また、回線サージ保護機能も搭載しているので回線から入ってくる異常電圧からモデムやTAをガードします。

・**テーブルタップ型のコンパクトUPS**

本体はテーブルタップ型でコンパクト設計、付属の縦置きスタンドを使えば設置場所も自由自在。
バックアップ可能な出力コンセントは３口用意され、250VA/168wまで機器を接続できます。また、サージ減衰機能の付いたスルー出力(バックアップしない)コンセントも３口用意され、700VAまで機器を接続することができます。

・**回線サージ保護機能を搭載**

電源サージ保護機能はもちろん、回線サージ保護機能も搭載されているため、電話回線やISDN回線のサージからモデムやTAを保護することができます。

・**自動シャットダウンソフトを標準添付**

Windows Me/98/95用の自動シャットダウンソフト「Powe Credit(オムロン製)」を標準添付。パソコンとUPS 250とを付属の専用シリアルケーブルで接続すると、停電時にはファイルの自動保存を行いWindowsを安全に終了してくれます。また、Windows 2000/NT4.0のUPSサービスにも対応しています。

・**自動バッテリーチェック機能を搭載**

4週間ごとにバッテリーチェックを自動的に実施し、交換時期になるとLEDとブザーで知らせてくれます。バッテリーはユーザー交換が可能になっているので、メンテナンスも簡単です。

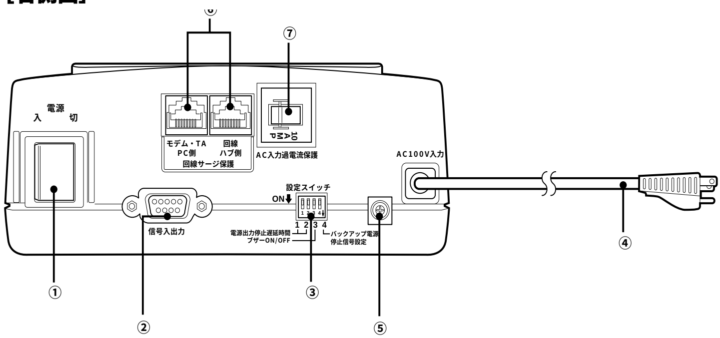
注意

サージ保護機能はすべてのケースに対応できるものではありません。雷が鳴り始めたら早めにパソコンの電源を切りましょう。
また、アースが正しく接続されていないとサージ保護機能は動作いたしません。

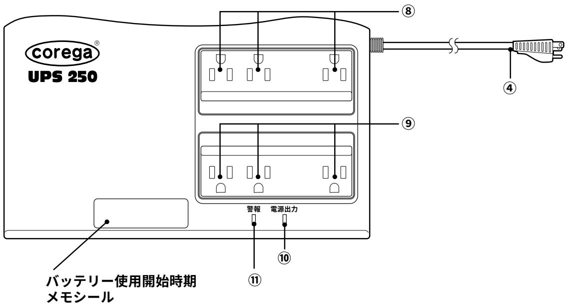
1 UPS 250

各部の名称と機能

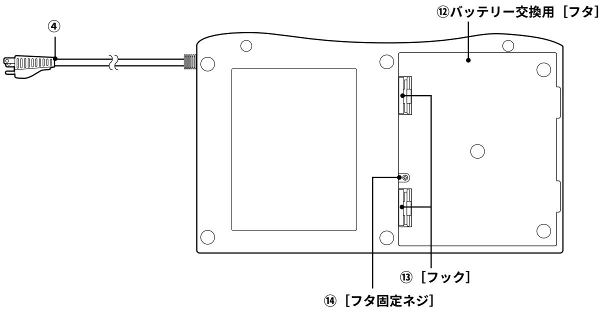
[右側面]



[上面]



[底面]



①「電源」スイッチ

本体上面の「AC100V電源出力」(⑧および⑨)コンセントに電源を供給するためのスイッチです。
日常運転時の「電源」スイッチは、入れた(運転状態)ままでも、接続されているシステムを停止するたびに切ってもどちらでもご使用いただけます。
ただし、「電源」スイッチが"入"の状態で商用電源が停止されると、停電または電源異常と判断しバックアップ運転に切り替わります。

注意

商用電源を切る前に、本機の「電源」スイッチを切ってください。
「電源」スイッチを切れないときは、自動シャットダウンソフトなどを使用して必要最小限のバックアップ時間で本機を自動停止する方法をお勧めします。
商用電源を停止するとバックアップ運転になります。商用電源を停止しバッテリーを放電し切ってしまうような使い方で充放電を頻繁に繰り返すと、バッテリーの寿命は著しく短くなり、繰り返しの充放電量が少ないほど寿命への影響が少なくなります。

②「信号入出力」コネクタ

自動シャットダウンソフトを使用する場合、付属の接続ケーブルで「信号入出力」コネクタとパソコンのシリアルポートとを接続します。
また、本機の信号入出力機能をご利用になる場合にも同様に接続してください。
参照 **「信号入出力機能を使用する場合」→76ページ**

③「設定」スイッチ

自動シャットダウンソフトを使用する場合の電源出力停止遅延時間(OS別にシャットダウンにかかる時間に合わせて設定)、ブザー音のON／OFF、バックアップ電源停止信号の各設定に使います。
参照 **「1.3 充電と運転操作」→25ページ**

④「AC100V入力」コード／プラグ

「AC100V入力」プラグを商用電源コンセントに接続することで本機に通電され、バッテリーの充電が開始されます。

⑤「回線サージ保護」モデム・TA・PC側端子

モデム、Fax、DSU、TA、NIC(ネットワークインターフェースカード)のコネクターを接続します。接続可能なコネクタ形状はRJ45(8芯)またはRJ11(2芯・4芯・6芯)です。
ケーブル上に発生するサージ電圧(異常高電圧)を吸収する機能を持っています。

⑥「回線サージ保護」回線・ハブ側端子

電話回線、ISDN回線、およびLANなどのネットワークケーブルを接続します。
接続可能なコネクタ形状はRJ45(8芯)またはRJ11(2芯・4芯・6芯)です。
回線上に発生するサージ電圧(異常高電圧)を吸収する機能を持っています。

⑦「AC入力過電流保護」10Aブレーカ

本機に接続する機器が多すぎたり、接続機器側の短絡事故が発生すると、「AC入力過電流保護」10Aブレーカの黒いボタンが飛び出し回路を遮断します。
復帰させるときはブレーカの黒いボタンを押し込んでください。

⑧「AC100V電源出力」(停電時バックアップしない)コンセント

商用AC100V電源出力コンセントです。本機の「電源」スイッチにより出力／停止を切り換えることができます。停電時はバックアップされません。

⑨「AC100V電源出力」(停電時バックアップする)コンセント

AC100V電源出力コンセントです。本機の「電源」スイッチにより出力／停止を切り換えることができます。停電時はバッテリーによるバックアップ運転に切り替わり、AC100V電源が供給されます。
バックアップの必要な機器はこのコンセントに接続してください。

⑩「電源出力」表示ランプ(緑)

「AC100V電源出力」(停電時バックアップする)各コンセントの電源出力状態を緑色LEDとブザー音の状態で示します。

参照 **「ブザー音と表示の見方」→30ページ**

⑪「警報」表示ランプ(赤)

警報ランプです。本機の状態を赤色LEDとブザー音の状態で示します。

参照 **「ブザー音と表示の見方」→30ページ**

1.2 機器の接続

設置する前に

注　意（設置・接続時）

重量・バランスに注意して運搬し、安定のよい頑丈な場所に置いて使用すること。

● 転倒や落下するとけがをすることがあります。
● UPS 250の重量は約2.5Kgです。

梱包のポリ袋は幼児の手の届かない場所に移すこと。

●小さいお子様がかぶったりすると、呼吸を妨げる危険性があります。

UPS 250の入力プラグは必ずAC100V(50/60Hz)の電源コンセント（商用電源）に接続すること。

●電圧の違う電源コンセント（商用電源）に接続すると、火災を起こすことがあります。
●UPS 250が故障することがあります。

10A以上の電流容量のある電源コンセント(商用電源)に接続すること。

●電源配線が発熱することがあります。
●出力容量最大限の機器を接続した場合、最大で10Aの電流が流れます。

アース接続(接地)を確実に実施すること。

●電源コンセントが3Pの場合UPS 250の「AC100V入力」プラグをそのまま差し込んでください。
故障や漏電があった場合に感電することがあります。
●「AC100V入力」プラグに2P-3P変換アダプタをご使用の場合、アース接続（接地）は必ず「AC100V入力」プラグを電源コンセント（商用電源）に接続する前におこなってください。
またアース接続(接地)を外す場合は必ず「AC100V入力」プラグを電源コンセント（商用電源）から抜いておこなってください。
●回線サージ保護を機能させるために、アースに接続してご使用ください。

分解、修理、改造をしないこと。

●感電したり、火災を起こす危険があります。

指定外の方向で設置しないこと。

●転倒や落下するとけがをすることがあります。

上にものを乗せないこと。

●ケースのゆがみや破損により火災を起こすことがあります。

1 UPS 250

⚠ 注　意(設置・接続時)

最高気温が40℃を超える場所で使用しないこと。

●バッテリーが急速に劣化し、火災などを起こすことがあります。
●UPS 250が故障したり、誤動作を起こすことがあります。

下記のような場所で設置や保管をしないこと。

●湿度が10%よりも低い／湿度が85%よりも高い／隙間のないキャビネットなど密閉した場所／可燃性ガスや腐食性ガスがある／屋外など。
●火災などの原因になることがあります。

密閉した場所で使用したり、カバーを掛けたりしないこと。

●異常な発熱や火災を起こすことがあります。

UPS 250の出力容量を超える機器を接続しないこと。テーブルタップ等で接続機器の増設を行なえますが、この場合はテーブルタップ等の電流容量を超える機器を接続しないこと。

●「停電時バックアップする」電源出力はオーバーロードを検出し、出力を停止します。
●UPS 250の電流保護が作動し、出力を停止することがあります。
●テーブルタップの配線が発熱し、火災を起こすことがあります。

安全上のお願い

寒い場所から暖かいところへ移動された直後は、数時間放置してから使用開始してください。

●急に暖かいところへ移動すると水分が付着し(結露)、そのまま通電すると故障することがあります。

購入されましたら、早めに充電(12時間以上)してください。

●「AC100V入力」プラグを電源コンセント(商用電源)に差し込むことでバッテリーを充電できます。なお、ご購入後長期間使用しないでいると、バッテリーの特性が劣化し、使用できなくなることがあります。

●本機を保管される場合は12時間以上充電し、「電源」スイッチを切ってください。バッテリーは使用しない場合でも自然放電し、長時間放置しますと過放電状態となりバックアップ時間が短くなったり、使用できなくなることがあります。

回線サージ保護の「回線・ハブ側」と「モデム・TA・PC側」の接続を逆にしないでください。

●保護回路が故障したときにISDN回線等に傷害を与える可能性があります。

本機の出力ライン間のショート(短絡)、および出力ラインをアースにショート(地絡)しないように注意してください。

●本機が故障することがあります。

安全上のお願い

バックアップ運転中に本機の「AC100V入力」プラグを本機の「停電時バックアップする」側の電源出力コンセントに差し込まないでください。

●本機が故障することがあります。

ページプリンタ(レーザープリンタなど)を本機に接続しないでください。

●ページプリンタはピーク時の電流が大きく、接続容量オーバーを検知したり、瞬時電圧低下による停電検出をすることがあります。

●商用運転、バックアップ運転を頻繁に繰り返し、バッテリー寿命が短くなります。

本機は10msec(0.01秒)以下の瞬間停電で不具合の発生する機器には使用しないでください。

●10msec.以下の切替時間が発生するため、接続機器が停止する可能性があります。

本機は蛍光灯などの誘導性の機器には使用しないでください。

●誘導性の機器とは、入力にトランス、コイル、モーターなどを内蔵している機器です。矩形波出力のため、接続機器が停止する可能性があります。

本機を直射日光の当たる場所に設置あるいは保管しないでください。

●温度上昇により内蔵バッテリーが急速に劣化し、使用できなくなることがあります。

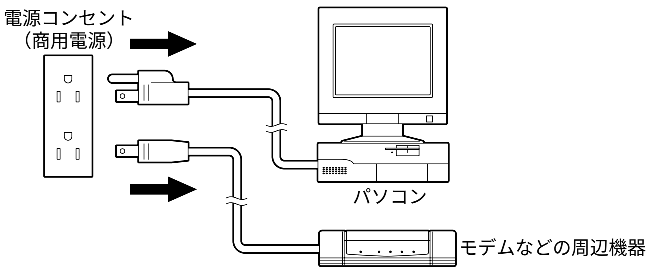
耐電圧試験はしないでください。

●電源入力線にはサージ吸収素子が入っていますので、耐電圧試験をされるとサージ吸収素子が破壊します。なお、絶縁抵抗試験をする場合は、DC250Vレンジで実施してください。

接続例

パソコン・周辺機器をバックアップするための接続

(1) パソコン、周辺機器のAC入力プラグをすべて、商用電源コンセントから抜いてください。

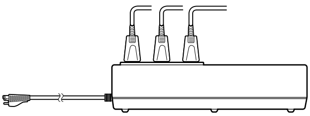


1 UPS 250

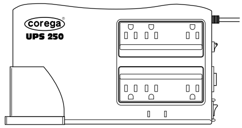
(2) 本機を設置します。

前面のシールに使用開始時期を記入してください。

・据え置き使用時

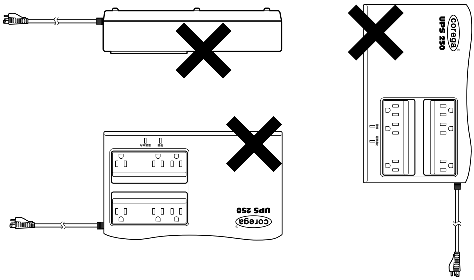


・縦置きスタンド使用時

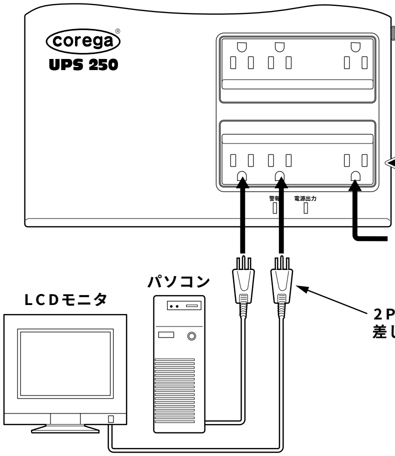


注意

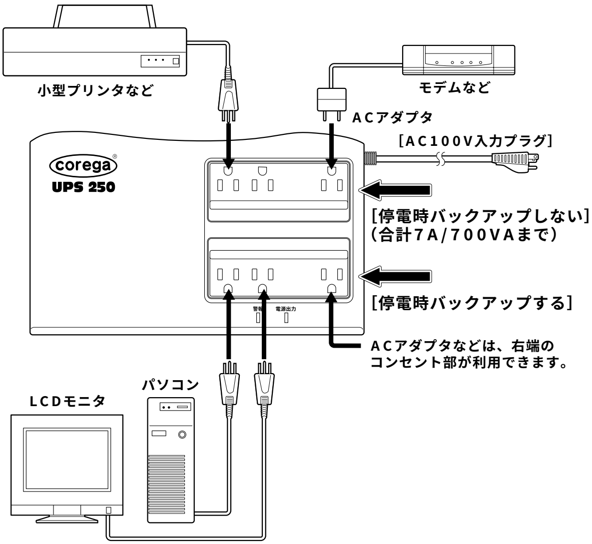
・据え置き使用時はコンセント面を上にして設置してください。
・縦置き使用時は、必ず付属のスタンドを使用してください。
・下図の設置方向では使用しないでください。



(3) 停電時バックアップが必要な機器を本機の「停電時バックアップする」側の電源出力コンセントに接続します。
最大合計で250VA(2.5A)、168Wまで接続できます。

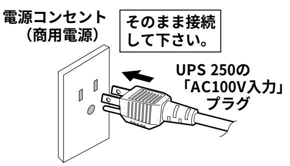


(4) 停電時バックアップしなくてよい機器を本機の「停電時バックアップしない」側の電源出力コンセントに接続します。
停電時、このコンセントに接続した機器への出力は停止します。
最大合計で7A(700VA)まで接続できます。

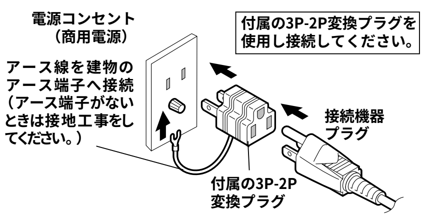


(5) 本機の「AC100V入力」プラグを商用電源コンセントに接続してください。
自動的にバッテリーの充電が開始され、最長12時間で充電が完了します。
このとき、本機の「電源」スイッチは「入」「切」どちらの状態でも充電されます。

[電源コンセントが3Pの場合]



[電源コンセントが2Pの場合]



注意

アース接続時のご注意

アースを接続しなくても本機のバックアップ機能には影響しませんが、下記の点にご注意ください。

- **雷などにより発生した電源サージあるいは回線サージを減衰する効果が低減します。**
- **接続機器がアースされないので金属部に触れると漏れ電流により感電することがあります。**

1 UPS 250

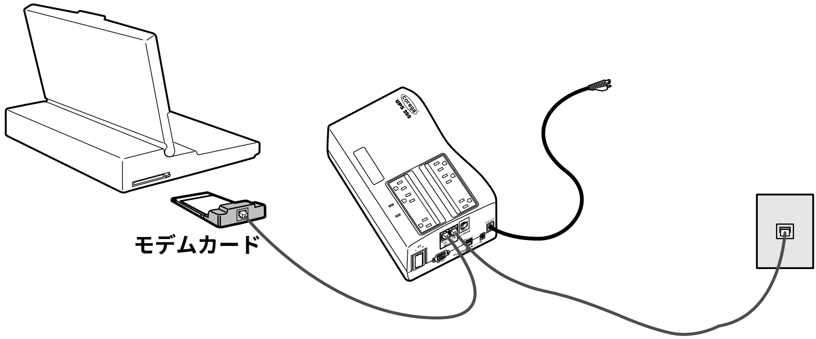
回線サージ保護機能を使用した接続

落雷などにより電話回線やネットワークケーブル上に発生するサージ電圧(異常高電圧)を吸収する機能です。モデム、TA、ネットワークカードをサージによる破損から保護します。
「回線サージ保護」端子には「RJ45(8芯)」と「RJ11(2芯、4芯または6芯)」のコネクタ形状をもつモジュラーケーブルが使用できます。

電話回線と接続する場合

(1) モジュラーケーブルで電話回線のローゼットから本機の「回線サージ保護」回線・ハブ側端子を接続します。

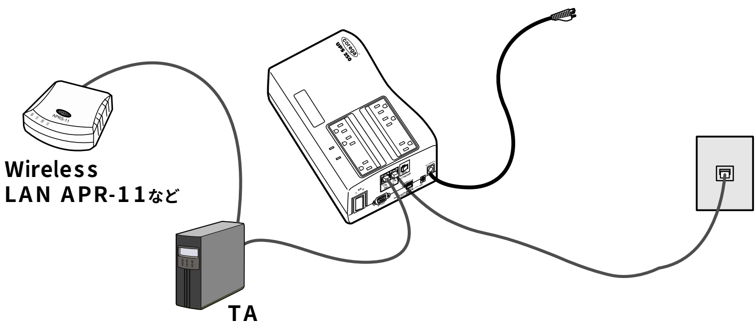
(2) モジュラーケーブルで本機の「回線サージ保護」モデム・TA・PC側端子とモデム、Fax等を接続してください。



・ISDN回線と接続する場合

(1) モジュラーケーブルでISDN回線のローゼットと本機の「回線サージ保護」回線・ハブ側端子を接続します。

(2) モジュラーケーブルで本機の「回線サージ保護」モデム・TA・PC側端子とDSU(DSU内蔵ターミナルアダプタ)を接続してください。



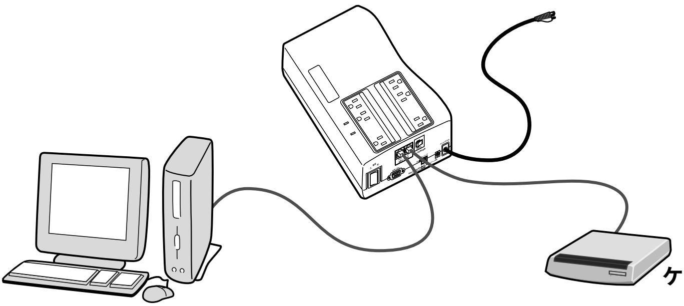
・LAN（10BASE-T/100BASE-TX）と接続する

10BASE-T/100BASE-TX（シールドなしツイストペアケーブル）ネットワークインターフェースを保護する場合には、10BASE-T/100BASE-TXケーブルを別途ご購入いただく必要があります。

10BASE-T/100BASE-TXケーブルにはcorega UTPケーブルをご使用ください。

(1) 10BASE-T/100BASE-TXケーブルでハブ（HUB）やケーブルモデムと本機の「回線サージ保護」回線・ハブ側端子を接続します。

(2) 別途ご購入いただいた10BASE-T/100BASE-TXケーブルで本機の「回線サージ保護」モデム・TA・PC側とパソコン本体のネットワークインターフェースカードを接続します。



動作確認

バックアップ運転が正常に動作することを確認してください。

この動作確認は、本機の「AC100V入力」プラグを商用電源に接続し、「電源」スイッチを入れた状態で、「AC100V入力」プラグを商用電源コンセントから抜くことにより停電が発生した場合を模擬したものです。

(1) 本機の「AC100V入力」プラグが商用電源に接続されていることを確認し、「電源」スイッチを入れます。
ブザーが鳴り、「電源出力」ランプと「警報」ランプが点灯します。
「警報」ランプ点灯後、約3秒間バックアップ動作になり自己診断テストをします。
自己診断テストが正常に終了すると、商用電源からのAC100V出力に切り替わり、下記の表示状態になります。

ランプ	状態
●（赤） 警報	消灯
☼（緑） 電源出力	点灯

(2) 接続されている機器（パソコンのサービスコンセントに接続されている機器を含む）をすべて動作状態にしてください。

注意
・接続機器は、電源が途中で停止しても支障のない状態で運転してください。
・本機は充電して出荷していますが、初めてご使用になる場合は自然放電によりバックアップ時間が短くなっている場合があります。あらかじめ本機を充電してからお使いいただくことをお勧めします。

(3) 本機の表示ランプ、ブザー音を確認してください。
下記の表示になる場合、動作は正常です。次の手順に進んでください。

●（赤）　警報 ☼（緑）　電源出力	消灯 点灯
ブザー音	なし
「停電時バックアップする」電源出力コンセント	電源出力する （接続機器通電状態）
「停電時バックアップしない」電源出力コンセント	電源出力する （接続機器通電状態）

注意
上記表示にならない場合は異常です。「ブザー音と表示の見方」→30ページの「３．機器に異常があるときの表示、ブザー」のいずれかの表示になります。対処方法に従って処置を行ってから次の手順に進んでください。

(4) 本機の「AC100V入力」プラグを商用電源コンセントから抜いてください。
バックアップ動作状態になります。

(5) バックアップ動作状態で、本機の表示ランプ、ブザー音を確認してください。
下記の表示になる場合、動作は正常です。次の手順に進んでください。
なお、動作Ｂの場合には、バッテリーの充電が不足していることを示しています。

	A	B
●（赤）　警報 ◐（緑）　電源出力	消灯 点滅４秒に1回	消灯 点滅1秒に1回
ブザー音　（ブザー設定：ONのとき） （ブザー設定：OFFのとき）	断続４秒に１回 なし	断続１秒に１回 なし
「停電時バックアップする」 電源出力コンセント	電源出力する （接続機器通電状態）	電源出力する （接続機器通電状態）
「停電時バックアップしない」 電源出力コンセント	電源出力停止 （接続機器停止）	電源出力停止 （接続機器停止）

注意

上記表示にならない場合は異常です。表示とブザーの状態を確認して一度電源スイッチを切ってください。

- **「ブザー音と表示の見方」→30ページの「3．機器に異常があるときの表示、ブザー」のNo.7あるいはNo.8の表示の場合は対処方法に従って処置を行ってから手順(1)に戻ってください。**
- **全くバックアップせずに本機と接続機器が停止した場合は、バッテリーの充電不足が考えられます。本機の「AC100V入力」プラグを商用電源コンセントに接続して6時間程度バッテリーの充電を行ってから、手順(4)に戻ってください。**
- **上記2点を確認しても解決しない場合は、弊社サポートセンターまでご連絡ください。**

(6) 「AC100V入力」プラグを、再び商用電源コンセントに接続してください。
電源ランプの点滅が連続点灯になり、ブザー音が消えます。
表示ランプ、ブザー音は下記の状態になります。

●（赤）　警報 ☼（緑）　電源出力	消灯 点灯
ブザー音	なし
「停電時バックアップする」電源出力コンセント	電源出力する （接続機器通電状態）
「停電時バックアップしない」電源出力コンセント	電源出力する （接続機器通電状態）

以上で動作の確認は終了です。

1.3 充電と運転操作

バッテリーの充電と再充電について

本機バッテリーは「AC100V入力」プラグを商用電源コンセントに接続することにより自動的に充電が開始され、最長12時間で完了します（「電源」スイッチは「入」「切」どちらの状態でも充電できます）。

本機は充電して出荷していますが、初めてご使用になる場合は自然放電によりバックアップ時間が短くなっている場合があります。あらかじめ本機を充電してからお使いいただくことをお勧めします。

初めての運転を開始する前に、お客様のご使用環境での本機のバックアップ時間初期値を測定してください。バッテリーを点検する際の目安になります。

参照 **「バックアップ時間の測定方法」→33ページ**

バックアップ時間を測定した後は、バッテリーが完全に放電しています。
ご使用開始に際しては再度充電が必要になります。

充電しながら接続機器を使用することも可能ですが、充電完了するまでは停電発生時のバックアップ時間が短くなります（充電開始直後に停電発生の場合では、すぐにバックアップが停止してしまいます）。

運転・停止方法と基本的な動作

⚠ 注 意（使用時）

濡らしたり、水をかけないこと。

●感電したり、火災を起こすことがあります。

寿命が尽きたバッテリーはすぐに交換するか、UPS 250の使用を中止すること。

●使用を続けると火災を起こすことがあります。

周囲温度	期待寿命
20℃	2～3年
30℃	1～1.5年

※左の表は標準的な使用条件での期待寿命であり、保証値ではありません。

「AC100V入力」プラグのほこりは、時々乾いた布でふき取ること。

●長期間ほこりが付着したままにしておくと火災の原因となることがあります。

変な音や臭いがした、煙が出た、内部から液体が漏れた時は、すぐにUPS 250の電源スイッチを切り「AC100V入力」プラグを電源コンセント(商用電源)から抜くこと。

●このような状態で使用すると火災を起こすことがあります。

●このような状態になったら絶対に使用せず、お買い求めの販売店か当社に点検・修理を依頼してください。

●使用時は異常発生時にすぐに「AC100V入力」プラグを電源コンセント（商用電源）から抜ける状態にしておいてください。

内部から液体が漏れたら、液体にさわらないこと。

●失明したり、火傷をする危険があります。

●目や皮膚に付いてしまったら、すぐに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診察を受けてください。

安全上のお願い

商用電源を切る前に、本機の「電源」スイッチを切ってください。

●「電源」スイッチを切れないときは、自動シャットダウンソフトなどを使用して必要最小限のバックアップ時間で本機を自動停止する方法をお勧めします。

●商用電源を停止するとバックアップ運転になります。商用電源を停止しバッテリーを放電し切ってしまうような使い方で充放電を頻繁に繰り返すと、バッテリーの寿命は著しく短くなり、繰り返しの充放電量が少ないほど寿命への影響が少なくなります。

●本機の「電源」スイッチは、入れた（運転状態）ままにしても、接続されているシステムの停止のたびに切ってもどちらでも問題なくご使用いただけます。お客様のご都合の良い方法で運用してください。なお、接続機器を長期間使用しないときは「電源」スイッチを切っておくことをお勧めします。

安全上のお願い

バックアップ動作終了について

●停電時間が長くなるとバッテリーが放電し、本機からの電源出力が停止します。
●本機が電源を供給している間にパソコンを正しい手続きで終了（データをセーブするなどの処置）するようにしてください。

再起動について

●停電中にバッテリーが放電してしまうと本機は停止します。その後停電などの電源異常が回復すると、本機は自動的に再起動し電源を供給します。本機の「停電時バックアップする」電源出力コンセントに接続されている機器を動作させたくないときは、本機の「電源」スイッチ、あるいは機器のスイッチを切っておいてください。

運転開始方法

商用電源コンセントに本機の「AC100V入力」プラグが接続され、本機の「電源」スイッチ」が「切」になっていることを確認してください。
このとき、バッテリーは自動充電されていますが、本機のランプ表示はすべて消灯され、本機からの電源出力は停止しています。

(1) 本機の「電源」スイッチを入れます。
ブザーが鳴り、「電源出力」ランプと「警報」ランプが点灯します。
「警報」ランプ点灯後、約３秒間バックアップ動作になり自己診断テストをします。

バッテリー電圧が低いときは自己診断テストをしません。4時間充電した後に自動的に自己診断テストをします。

自己診断テストが正常に終了すれば商用電源からのAC100V出力に切り替わり、通常運転状態になります。なお、自己診断テストを実行しなかったときは、すぐに商用電源からのAC100V出力になります。
通常運転時のランプ表示とブザー音の状態は以下のとおりです。

●（赤） 警報 ☼（緑） 電源出力	消灯 点灯
ブザー音	なし
「停電時バックアップする」電源出力コンセント	電源出力する （接続機器通電状態）
「停電時バックアップしない」電源出力コンセント	電源出力する （接続機器通電状態）

- **本機運転中はバッテリーが自動充電されます。**
- **バッテリー自動テスト機能について**
  本機には自動でバッテリー交換の要否、内部回路の故障を判定するバッテリー自動テスト機能がついています。この機能にお客様の操作は必要ありません。テスト周期は「AC100V入力」プラグを商用電源コンセントに接続してから4週間に1回です。

- **バッテリー自動テストが開始されると、自動的にバックアップ運転が開始されます。ただし、この場合ブザーは鳴りません。バッテリー自動テストが終了した後は自動的に通常運転状態に戻ります。**
- **「警報」表示が点滅しブザーが鳴動した場合は、「ブザー音、表示の見方」→○○ページまたは「３．機器に異常があるときの表示、ブザー」→○○ページの対処方法に従って処置を行ってください。**

注意

本機の「電源」スイッチを切った状態で「AC100V入力」プラグが商用電源コンセントから外されると、4週間タイマーはリセットされます。また、「電源」スイッチが切られている場合はテストできません。

停電時の動作

停電や入力電源異常が発生すると、自動的にバックアップ動作に切り替わりバッテリーからの電力で「停電時バックアップする」電源出力コンセントから電源出力を継続します。バックアップ運転に切り替わると、「電源出力」ランプが点滅し、ブザーが断続鳴動してお知らせします。

バックアップ運転時のランプ表示とブザー音の状態は以下のおとりです。

	A	B
●（赤）　警報 ◐（緑）　電源出力	消灯 点滅４秒に1回	消灯 点滅1秒に1回
ブザー音　（ブザー設定：ONのとき） （ブザー設定：OFFのとき）	断続４秒に１回 なし	断続1秒に１回 なし
「停電時バックアップする」 電源出力コンセント	電源出力する （接続機器通電状態）	電源出力する （接続機器通電状態）
「停電時バックアップしない」 電源出力コンセント	電源出力停止 （接続機器停止）	電源出力停止 （接続機器停止）

- バッテリーが十分充電されているときは「Ａ」の表示とブザー音になります。
- バッテリー残量が少なくなると、「Ｂ」の表示とブザー音になります。
- バッテリーの電力を使い切ると「停電時バックアップする」電源出力コンセントからの電源出力も停止し、ランプ表示とブザーも停止します。

停電が回復したとき

本機から電源出力している間に停電または入力電源異常が回復したときは、自動的に商用電源からの出力に戻ります。消費したバッテリーには自動充電が開始されます。

バッテリーの電力を使い切って本機からの電源出力が停止した後に停電または入力電源異常が回復したときは、自動的に充電が開始され、充電が完了すると電源出力を再開（再起動）します。

運転停止方法

(1) 本機の「電源」スイッチを切ります。
「電源出力」ランプと「警報」ランプが消灯し、本機からの電源出力が停止します。運転停止時のランプ表示とブザー音の状態は以下のとおりです。

●（赤） 警報 ●（緑） 電源出力	消灯 消灯
ブザー音	なし
「停電時バックアップする」電源出力コンセント	電源出力停止 （接続機器停止）
「停電時バックアップしない」電源出力コンセント	電源出力停止 （接続機器停止）

「電源」スイッチを切っても商用電源からAC100Vが供給されていれば、バッテリーは自動充電されます。

機能の設定変更

注意

「設定」スイッチ変更後は、一度「電源」スイッチを入れ直してください。「電源」スイッチを再度入れ直した後で設定スイッチの変更が有効となります。

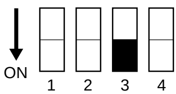
設定スイッチ「1」「2」

自動シャットダウンソフト「Power Credit」を使用してシャットダウン処理をする際の電源出力停止遅延時間を設定するときに使います。

参照 **「2.3 Power Creditによるシャットダウン動作」→51ページ**

設定スイッチ「3」

ブザー鳴動音のON／OFFを切り換えます。



・ON ：アラームが必要なときブザーが鳴ります。製品出荷時は“ON”に設定されています。

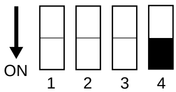
・OFF ：バックアップ動作時のブザーが鳴りません。ただし、警報表示（赤）点灯、点滅時（接続容量オーバー、バッテリー交換、動作以上など）はブザーが鳴ります。

設定スイッチ「4」

信号入出力機能を使用する場合、バックアップ電源停止信号(BS）入力の形式を選択できます。

参照 **「信号入出力機能を使用する場合」→○○ページ**

1 UPS 250



・ON ：0.01秒（10ms）以上継続するバックアップ電源停止信号（High）を入力することで、本機の電源出力を停止できます。バックアップ運転中のみ停止信号を受け付け電源出力を停止できます。
商用電源による運転中にバックアップ電源停止信号が入っても停止させたくないときはこの設定にします。製品出荷時は“ON”に設定されています。

・OFF ：10秒以上継続するバックアップ電源停止信号（High）を入力することで本機の電源出力を停止できます。商用電源による運転中でも電圧信号入力で電源出力を停止します。

注意
「停電時バックアップしない」電源出力コンセントの電源出力は、停止信号で停止することができません。

ブザー音と表示の見方

○点灯　●消灯　◐点滅

出力1：「停電時 バックアップする」電源出力コンセント
出力2：「停電時 バックアップしない」電源出力コンセント

①通常運転中の表示、ブザー

No.	表示ランプ	ブザー音	出力1	出力2	充電	説明	対処方法
1	電源出力 ● 警報 ●	なし	停止	停止	停止	「AC100V入力」なし。動作停止中。	――――
2	電源出力 ● 警報 ●	なし	停止	停止	ON	「AC100V入力」あり。電源スイッチ「切」。	――――
3	電源出力 ○ 警報 ●	なし	ON	ON	ON	電源スイッチ「入」。AC100V入力正常。正常動作中。	――――
4	電源出力 ◐ 4秒間隔 警報 ●	なし	ON	ON	停止 放電中	自己診断テストあるいはバッテリーテスト中。	――――

②停電・入力電圧異常が発生したときの表示、ブザー

No.	表示ランプ	ブザー音	出力1	出力2	充電	説明	対処方法
5	電源出力 ◐ 4秒間隔 警報 ●	断続 4秒間隔 (設定ON時)	ON	入力電圧をそのまま出力 (停電時は出力停止)	停止 放電中	停電、あるいは入力電圧が110V以上／90V以下のため、バックアップ運転中。このままバックアップ運転を続けるとバッテリーが消耗してしまいます。	ご使用の接続機器の終了処理をした後、接続機器を停止してください。
6	電源出力 ◐ 1秒間隔 警報 ●	断続 1秒間隔 (設定ON時)	ON		停止 放電中	(同上) バッテリーの残量が少ないので、まもなく出力を停止します。	(同上)

③機器に異常があるときの表示、ブザー

No.	表示ランプ	ブザー音	出力1	出力2	充電	説　　明	対処方法
7	電源出力 ☼ 警報 ◐ 0.5秒間隔	断続 0.5秒間隔	ON	入力電圧をそのまま出力（停電時は出力停止）	ON	「接続機器が多すぎ、250VAを超えています。このままでは停電時にバックアップしません。この状態が5分以上続くとNo.8の状態になり出力停止します。	この表示が消えNo.3の状態になるまで接続機器を減らしてください。
8	電源出力 ● 警報 ☼	連続	停止		停止	故障発生あるいは接続容量オーバーにより停止。接続容量が140％以上の時は、No.7の状態にならず即時にこの状態になります。	UPS 250と接続機器の電源スイッチをすべて切り、本機の電源スイッチのみ再度入れてください。警報ランプが再度点灯する場合は、装置に異常がありますので販売店またはメンテナンスサポートにご連絡ください。No.3の状態になるときは、接続機器を減らしてください。
9	電源出力 ☼ 警報 ◐ 2秒間隔	断続 2秒間隔	ON		ON	バッテリーテストでバッテリーの劣化が検出されました。	バッテリーを交換してください。別売の交換バッテリーをお求めになればお客様で交換できます。27ページ「5.保守・点検について」を参照ください。

1.4 バッテリーの点検と交換

⚠ 注　意（保守・廃棄時）

接続機器の保守を行う場合は必ずUPS 250の「電源」スイッチを切り、停止した状態で行うこと。

●「バックアップする」側の電源出力はバックアップ電源が運転状態のときに「AC入力プラグ」を抜いても出力は停止せず、コンセントからAC100Vが供給されます。

分解、修理、改造をしないこと。

●感電したり、火災を起こす危険があります。

内部から液体が漏れたら、液体にさわらないこと。

●失明したり、火傷をする危険があります。

●目や皮膚に付いてしまったら、すぐに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診察を受けてください。

1 UPS 250

⚠ 注 意(保守・廃棄時)

バックアップ電源を不燃ゴミとして廃棄しないこと。

●鉛バッテリーを内蔵していますので地方自治体等の条例や指導に従って正しく処理してください。

バックアップ電源を火の中に投棄しないこと。

●鉛バッテリーを内蔵していますので、バッテリーが爆発したり、希硫酸が漏れたりすることがあります。

⚠ 注 意(バッテリー交換時)

交換作業は安定した、平らな場所で行うこと。

●バッテリーは落下しないよう、しっかりと保持してください。

●落下によるけが、液洩れ(酸)によるやけどなどの危険があります。

指定以外の交換バッテリーは使用しないこと。

●火災の原因となることがあります。

●商品形式：BP25XT(オムロン製)

可燃性ガスがある場所でバッテリー交換をしないこと。

●バッテリーを接続する際、火花が飛び、爆発・火災の原因になる恐れがあります。

バッテリーから液漏れがあるときは液体(希硫酸)に触らないこと。

●失明したり、火傷をする危険があります。

●目や皮膚に付いてしまったら、すぐに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診察を受けてください。

バッテリーの分解、改造をしないこと。

●希硫酸が漏れ、触ると失明、やけどなどの恐れがあります。

バッテリーを落下させたり、強い衝撃をあたえないこと。

●希硫酸が漏れたりすることがあります。

バッテリーを金属物でショートさせないこと。

●感電、発火、火傷の恐れがあります。

●使用済みバッテリーでも内部に電気エネルギーが残っています。

バッテリーを火の中に投げ入れたり､破壊したりしないこと。

●バッテリーが爆発したり、希硫酸が漏れたりすることがあります。

バッテリーの処分について

●不要バッテリーは不燃物として処理しないでください。
●鉛バッテリーはリサイクル資源です。交換後の不要バッテリーの処分については、地方自治体等の条例や指導に従って正しく処理してください。

バッテリーの点検

バックアップ電源に使用しているシール形鉛バッテリーには寿命があります。
使用／保存環境、バックアップの頻度によって寿命は変わりますが、寿命末期に近づくほど急速に劣化が進みますのでご注意ください。
なお、本機のバッテリー自動テスト（→27ページ）により寿命を判定できますが、より正確に判定するには「バックアップ時間の測定方法」→33ページを参照してください。

注意

バッテリーは保管状態でも劣化が進行します。また、高温になるほど寿命は急速に短くなります。

バッテリーの寿命（交換時期の目安）

周囲温度	バッテリー寿命	交換の目安
20℃	2～3年	使用開始から2年後
30℃	1～1.5年	使用開始から1年後

バックアップ時間の測定方法

(1) 本機の「AC100V入力」プラグを商用電源コンセントに接続し、約12時間充電します。
すでに12時間以上運転している場合は充電されています。この間、停電があった場合は充電をやり直してください。

(2) 「停電時バックアップする」電源出力コンセントにつながっているすべての接続機器（パソコンのサービスコンセントに接続されている機器も含む）の電源を入れてください。

接続機器の電源が途中で停止しても支障のない状態で運転してください。
例：「Windowsの終了」を選択し、ご使用中のOSを次のような手順で終了してください。

- **Windows Me/2000 / Windows NT4.0 の場合**
「シャットダウン」を選択してOSを終了し、OSの終了画面にしてください。
- **Windows 98/95 の場合**
「MS-DOSモードで再起動する」を選択してOSを終了し、MS-DOSモードの画面にしてください。

(3) 本機の「AC100V入力」プラグを商用電源コンセントから抜き、バックアップ時間を測定してください。
プラグを抜いたままでバックアップ電源が自動的に停止し、表示がすべて消えるまでの時間を測定します。

1 UPS 250

注意

ご購入後、はじめて測定したバックアップ時間がバックアップ時間の初期値となります。

バックアップ時間の目安

バックアップ時間は接続機器の容量により変化します。
接続機器の総容量を計算した後、バックアップ時間のグラフを参照し、バックアップ時間初期値の目安にしてください。（バッテリーの点検をする際も同様です）

(1) 接続機器の総容量（消費電力）を、Wに統一します。
接続機器の表示はパソコン本体、モニター裏面を確認してください。
表示方法としては、VA表示、A表示、W表示の3種類があります。

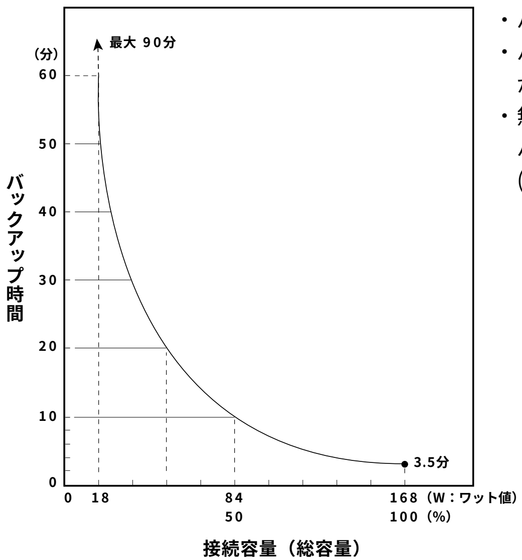
例1) AC100V，50/60Hz，145W
例2) AC100V，50/60Hz，1.8A
例3) AC100V，50/60Hz，150VA

表記	値
VA	× 0.6 = W
A	× 60 = W

VA、Aと表記されている機器の場合は容量をWに換算してください。換算方法は機器の表記に右表の値をかけてください。

(2) Wに換算した値を合計して、接続機器の総容量を求めてください。

(3) 下記グラフから接続機器の総容量でのバックアップ時間初期値を算出してください。



・バックアップ時間グラフ（新品初期値）
・バックアップ時間は、接続機器の容量が小さいと長くなります。
・無負荷で停電させた場合でも最長のバックアップ時間は90分です。
(90分で出力停止します。)

バックアップ時間測定の目安と頻度

周囲温度	6ヶ月ごとの点検	1ヶ月ごとの点検
20℃	購入時から1.5年まで	1.5年以降
30℃	購入時から10ヶ月まで	10ヶ月以降

バッテリーの交換

本機のバッテリーはお客様ご自身で交換が可能です。
別売品の交換用バッテリーパック「BP25XT（オムロン製）」を用意してください。交換用バッテリーパックはオムロン製品取扱店でお求めください。

(1) 本機のコンセントに接続されている機器を停止し、接続機器のプラグを抜いてください。

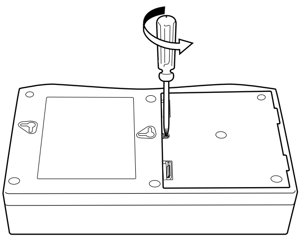
再接続の際に「停電時バックアップする」と「停電時バックアップしない」コンセントとを間違えないように確認しておいてください。

(2) 本機の「電源」スイッチを切ります。

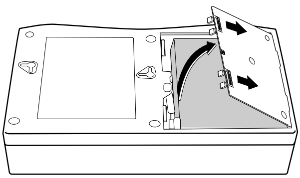
(3) 「AC100V入力」プラグを商用電源コンセントから抜きます。

(4) 本機を裏返して底面が上になるように置きます。

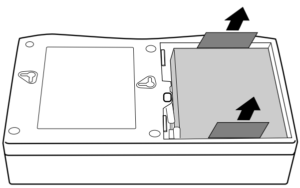
(5) バッテリー交換用フタの止めネジ（1個）をプラスドライバーで外します。



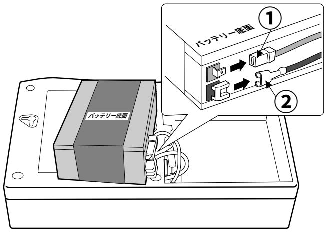
(6)バッテリー交換用フタのフックを押しながら持ち上げるようにして開けます。



(7)バッテリー両側の白いラベルを持ち、引き上げるようにしてバッテリーを取り出します。



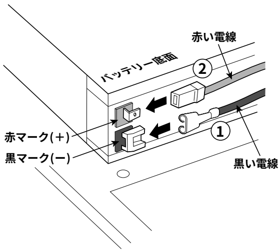
(8) バッテリーに接続されている２本の電源コネクタ(①赤色：＋側／②黒色－側)を取り外します。



注意

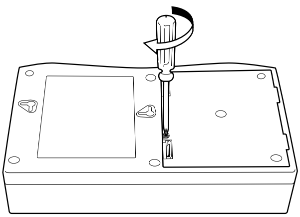
・バッテリーは落下しないようにご注意ください。
・バッテリーが液漏れしているときは、液体(希硫酸)にさわらないでください。
・交換後の不要バッテリーは、交換用バッテリーの包装用ビニール袋にそのまま入れ、テープで封止してください。

(9) 新しいバッテリーに２本の電源コネクタ(①黒色－側／②赤色：＋側)を接続します。



(10) バッテリー両側の白いラベルを持ち、本機の元の位置に取り付けます。

(11) バッテリー交換用フタを取り付け、固定ねじで固定します。



注意

交換用バッテリーに添付の使用開始時期シールを記入してケース上面に貼ってください。次のバッテリー交換時期の目安になります。

(12) 接続機器のプラグを本機の各電源出力コンセントの元の位置に差し込みます。

(13) 本機の「AC100V入力」プラグを商用電源コンセントに接続します。

(14)「電源」スイッチを入れます。
正常に起動し、「電源出力」ランプが点灯することを確認してください。
これで、バッテリーの交換は完了です。

1.5 おかしいなと思ったら

UPS 250の動作がおかしい時、以下の確認をおこなってください。
それでも解決しない時は、coregaサポートセンター（巻末に記載）にお問い合わせください。

現　象	確認・対策
動作しない UPS 250の「AC100V入力」プラグを電源コンセント（商用電源）に差し、電源スイッチを入れても電源出力ランプ（緑）が点灯しない	①「AC入力プラグ」が商用電源に確実に接続されているか確認してください。 ②「AC入力過電流保護」が働いて切れている。 （黒いボタンが飛び出しているときは接続機器が多すぎる、または接続機器側の短絡事故が考えられます。）接続機器をすべて外し、「AC入力過電流保護」の黒いボタンを押し込んで、再度バックアップ電源の「電源」スイッチを入れてください。正常な運転表示が点灯しないときは故障です。(24ページ「ブザー音、表示の見方」を参照ください。 ③電源コンセント（商用電源）の電圧が低すぎませんか？ エアコンなどの消費電力が多い機器を止める。他の部屋や他の家屋の電源コンセント（商用電源）に接続するなどして試してください。（90V以下では動作しません。）
バックアップできない 停電するとパソコンも停止してしまう	①充電不足ではありませんか？ 12時間以上充電してからテストしてください。 （UPS 250の「AC100V入力」プラグを電源コンセント（商用電源）に接続すると充電できます。） ②「停電時バックアップする」側の出力コンセントに接続されていますか？ 「停電時バックアップしない」側のコンセントは、停電時には出力停止します。
頻繁にバックアップする 停電でもないのに、頻繁に切替をおこなっている カチャカチャ音がする	①入力電源に異常がある可能性があります。UPS 250を別の部屋の電源コンセント（商用電源）、できるなら別の家屋の電源コンセント（商用電源）に接続してみてください。またはクーラーなど大型機器を止めてみてください。 ②ページプリンタが接続されていませんか？ プリンタは、瞬時に大きな電流が流れるため正常にバックアップできません。

1 UPS 250

現　象	確認・対策
ディスプレイ画面がおかしい ●画面がゆらぐ ●白線がはいる ●ノイズ音が大きくなる	①UPS 250はバックアップ時に若干のノイズを発生します。ノイズの影響を受けやすいタイプのディスプレイでゆらぎや白線が入ることがありますが、故障ではありません。 ②UPS 250やパソコン、ディスプレイのアースを接続すると、改善される場合があります。 ③バックアップ時に接続機器によってはノイズ音が少し大きくなることがありますが、矩形波出力によるものでありそのままご使用されても問題ありません。
警報ランプが２秒に１回点滅している。	バッテリ自動テストあるいは自己診断テストでバッテリーが寿命と判定されました。 バックアップ運転ができませんのでバッテリーを交換してください。
警報ランプが0.5秒に1回点滅している	接続機器が多すぎます。このランプが消えるまで、接続機器を減らしてご使用ください。
警報ランプが点灯している	接続機器が多すぎる状態が5分以上継続または140%を超え即時に停止しました。UPS 250の「電源」スイッチを切り再び入れた時に、警報ランプが0.5秒に1回点滅している場合、接続機器を減らしてご使用ください。 警報ランプが再び点灯している場合は、回路に異常があります。修理が必要ですので、販売店または当社の周辺機器メンテナンスサポートにご連絡ください。
テスタで出力電圧を測ると80V位しか出力していない。	UPS 250はバックアップ運転中は特殊な矩形波で出力します。簡易なテスタでは特性上80V位の表示になります。故障ではありません。正しい測定をするには「真の実効値」が測定できるタイプの電圧計が必要です。

2．自動シャットダウンソフト （Power Credit）

2.1 機能概要

Power Creditは、電源異常が発生したときにアプリケーションソフトウェアを自動的に終了させ、OSやハードディスクの損傷を防止するソフトウェアです。
本ソフトウェアは、電源バックアップ装置 corega UPS 250（本機）と組み合わせてご使用ください。

動作環境

・動作パソコン：　DOS/V機、NEC製PC98-NXシリーズ機

注意
・NEC製PC9801、9821シリーズ、Apple製Macintoshおよびその互換機ではご使用になれません。
・シリアルポートに空きが無い場合はご使用いただけません。

・動作OS：　Microsoft Windows Me/98（Second Editionを含む）/95（日本語版）
・必要メモリ：　32Mバイト以上（64Mバイト以上推奨）
・必要ハードディスク空き容量：インストールのために約10Mバイト以上の空き容量が必要です。
・インターフェース：　接点信号入出力（RS-232Cポート使用）
・対象バックアップ電源：　corega UPS 250（本機）

シャットダウン動作について

停電などの電源異常が発生した場合、Power Creditは作成中や編集中のファイルを自動保存し、アプリケーションソフトウェアの自動終了を行ってからWindows終了を行います。
Windows終了後は、バックアップ電源（本機）を自動停止します。
参照 **「2.3 Power Creditによるシャットダウン動作」→51ページ**

注意
ファイル自動保存に関する注意
フロッピーディスクからデータを読み込んでファイルを開いている場合、フロッピーディスクをドライブから抜かないでください。ファイルを開いたままフロッピーディスクをドライブから抜いている状態で電源異常が発生した場合、Power Creditが自動シャットダウンを開始しても、アプリケーションソフトウェアおよびWindowsを正常に終了することができません。
また、起動しているアプリケーションソフトウェアによっては、作成中のファイルや編集中のファイルを自動保存できない場合があります。

Power Creditは、一般オフィスや家庭で使われるパソコン（DOS/V機やPC98-NX）に使用することを目的に設計、製造されています。

2 自動シャットダウンソフト（Power Credit）

注意

- **本ソフトウェアは、極めて高い信頼性や安全性が要求される次のような用途には絶対に使用しないでください。**
  人命に直接かかわる医療機器などの用途。
  人身の損傷に至る可能性のある用途（航空機、船舶、電車、エレベータ等の運行、運転、制御に直接関連する用途）。
  主要な電算機システム、幹線通信機器、公共交通システム等。
  上記に準じる機器。
- **本ソフトウェアはWindows 2000およびWindows NT4.0には対応していません。**
- **旧バージョンのPower Creditを使用されている場合は、本ソフトウェアのフロッピーディスクを使用して、新バージョンへバージョンアップしてください。バージョンアップするために旧バージョンをアンインストールする必要はありません。バージョンアップ後は、Power Creditの「環境設定」画面を開き、環境設定を行ってください。**
  参照 **「Power Creditのインストール」→40ページ**
- **パソコンがスタンバイモードになっている場合、自動シャットダウン機能は動作しません。**
  スタンバイモード中にバックアップ運転に切り替わった場合は、速やかにWindowsを起動しWindowsの終了操作を行ってください。

2.2 自動シャットダウンソフト（Power Credit）の インストール

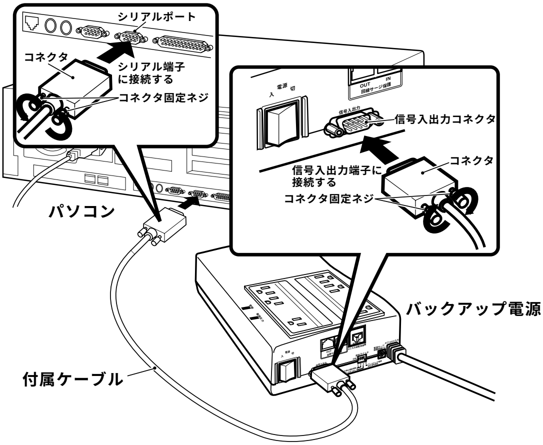
バックアップ電源との接続方法

Power Creditをインストールする前にパソコンとバックアップ電源（本機）を付属ケーブルで接続してください。

(1) パソコンとバックアップ電源（本機）の「電源」スイッチが切れていることを確認してください。
パソコンと本機の「電源」スイッチが入っている場合は、先にWindowsを終了し、パソコンの「電源」スイッチを切り、その後に本機の「電源」スイッチを切ってください。

(2) パソコンの電源プラグを本機の「停電時バックアップする」電源出力コンセントに差し込みます。

(3) パソコンのシリアルポート（RS232C）と本機右側面の信号入出力コネクタとを付属ケーブルで接続してください。



注意

- **パソコンのシリアルポートと本機の信号入出力コネクタとを接続するケーブルは、必ず付属ケーブルをご使用ください。また、付属ケーブルを使用して通信機器や他社バックアップ電源を接続しないでください。**
- **ケーブルの接続によりパソコンのシリアルポート（COM1～COM4）のいずれか１つを占有します。**
- **シリアルポートが２つあるパソコンで、シリアル２（シリアルＢ）側をお使いいただく場合、パソコンのシリアル２（シリアルＢ）に関するＢＩＯＳの設定が「Disable」となっている機種があります。シリアル２（シリアルＢ）をご使用になるときは、この設定を「Enable」に変更してください。パソコンのBIOS設定の確認および設定変更方法については、ご使用パソコンの取扱説明書等を参照してください。**
- **ご使用になるパソコンによっては、シリアルポートに関するBIOS設定が「Auto」または「OS Control」となっている機種があります。この設定では、電源異常によるシャットダウン動作時に本機の「バックアップ電源停止信号」による自動停止ができない場合があります。この場合、パソコンのシリアルポートに関するBIOS設定を「Auto」または「OS Control」から「COM1」～「COM4」に設定変更してください。なお、ご使用のパソコンによっては、I/OアドレスとIRQで表示されている機種もあります。パソコンのBIOS設定の確認および設定変更方法については、ご使用パソコンの取扱説明書等を参照してください。**
- **シリアル拡張ボードでのご使用はできません。**

(4) 本機の「電源」スイッチを入れます。

(5) パソコンの「電源」スイッチを入れます。

Windowsが起動したら、次項「Power Creditのインストール」へ進んでください。

2 自動シャットダウンソフト（Power Credit）

Power Creditのインストール

Power Creditのインストール方法は、Windows Me/98/95のいずれをお使いの場合も同じです。本書ではWindows Meを例に、フロッピーディスクドライブがAドライブとして説明します。

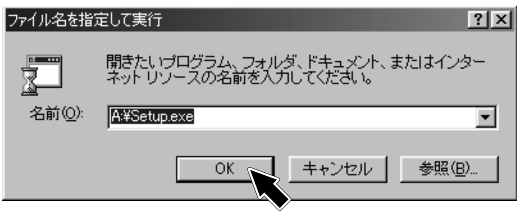
注意

- **お使いのパソコン環境で、Windowsが正常に終了できることを確認してから、Power Creditのインストールを開始してください。なお、Windowsが正常に終了できないような環境にインストールしても、Power Creditによるシャットダウン動作は正常に行えません。**
- **他のバックアップ電源シャットダウンソフトウェアを使用していた場合は、必ずそのソフトウェアをアンインストールし、Windowsを再起動した後にPower Creditのインストールを行ってください。各ソフトウェアのアンインストール方法は、各ソフトウェアの取扱説明書を参照してください。**
- **あらかじめ「バックアップ電源との接続方法」→19ページをお読みになり、接続を行ってからPower Creditのインストールを行ってください。**
- **Power Creditをインストールするためには、3.5インチフロッピーディスクドライブが必要です。**
- **Power Creditをインストールすると、パソコンのメモリリソースを最大約800Kバイト使用します。**

(1) PowerCreditインストールディスクの「Disk 1」をパソコンのフロッピーディスクドライブに挿入します。

(2) Windowsの「スタート」ボタンをクリックし、「ファイル名を指定して実行(R)...」を選択します。

(3) 「名前（O）」の欄に「A:￥Setup.exe」と入力し、「OK」ボタンをクリックします（「Setup.exe」ファイルは、PowerCreditインストールディスクの「Disk 1」に収録されています）。
（例：フロッピーディスクドライブがＡドライブの場合　「A:\Setup.exe」と入力します。）



注意

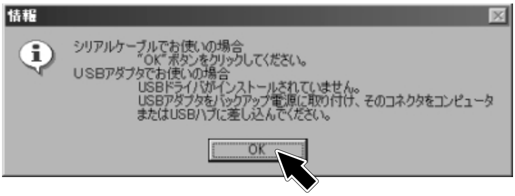
「Norton Clean Sweep」アプリケーションがインストールされているパソコンに本ソフトウェアをインストールすると、「Norton Clean Sweep」の「スマートスウィープ／インターネットスウィープ」画面が表示されます。
この画面が表示されたら「いいえ」を選択し、「インストールするプログラムの監視」を行わないようにしてください。

2 自動シャットダウンソフト（Power Credit）

・以下のような「質問」ダイアログが表示された場合は、「はい」ボタンをクリックして、本ソフトウェアのバージョンアップを行なってください。
「いいえ」ボタンをクリックすると、バージョンアップは実行されません。



・以下のような「情報」ダイアログが表示された場合は、「OK」ボタンをクリックしてください。

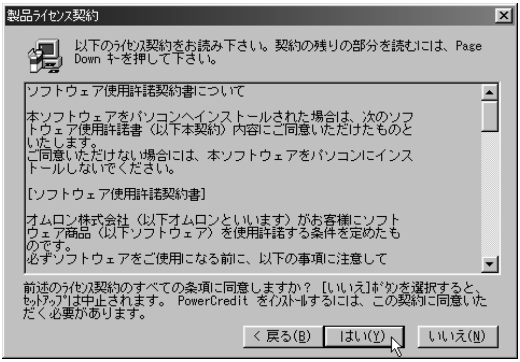


(4) 次のような画面に表示された内容を読み終わったら「次へ」ボタンをクリックしてください。



2 自動シャットダウンソフト（Power Credit）

(5) 契約内容をお読みになり、同意されるときは「はい」ボタンをクリックしてください。
同意いただけない場合、本ソフトウェアをご使用になることはできません。「いいえ」ボタンをクリックし、インストールを中止してください。



(6) インストール先フォルダ名を確認し、「次へ」ボタンをクリックします。
・自動的に表示されるインストール先フォルダは、
“ C:\Program Files\PowerCredit ”です。
・インストール先フォルダは特に変更する必要はありません。変更したい場合は、「参照」ボタンをクリックし、フォルダ名を変更してください。



注意
ネットワークドライブとして割り当てたハードディスクに本ソフトウェアをインストールすることはできません。

(7) プログラムフォルダ名を確認、「次へ」ボタンをクリックします。
自動的に表示されるプログラムフォルダ名は、“ PowerCredit "です。



(8) インストール中ですので、しばらくお待ちください。



注意

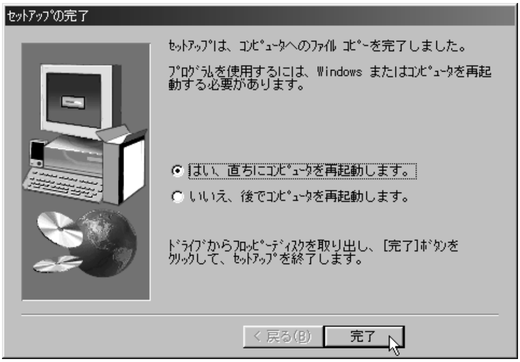
インストール中に、2枚目のフロッピーディスクを求められます。インストール画面メニューに従って、PowerCreditインストールディスクの「Disk 2」をフロッピーディスクドライブに挿入し、インストールを継続してください。

2 自動シャットダウンソフト（Power Credit）

(9) 「▼」をクリックし、ご使用になるバックアップ電源の形式を選び、「次へ」をクリックします。



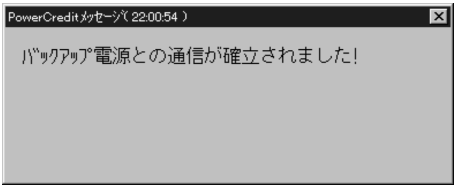
(10) フロッピーディスクを取り出し、「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選択してから「完了」ボタンをクリックします。Windowsが自動的に再起動され、バックアップ電源の監視が自動的に開始されます。



(11) Windowsを再起動後、バックアップ電源の監視が開始されているかを、次のように確認します。

■接続の確認が正常に行われた場合

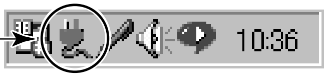
Windows起動時に、次のようなメッセージダイアログが表示され、自動的に消えます。



⇩

Windowsのタスクトレーにpowercreditのアイコン（電源プラグのアイコン）が表示され、PowerCreditとバックアップ電源間の通信が確立され、バックアップ電源が監視を開始していることを示します。

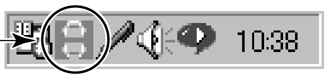
正常運転中のPowerCreditのアイコン



■PowerCreditのアイコンが以下のようになっていた場合

何らかの理由でエラーが起きています。このような場合は、以下のことを確認し、Windowsを再起動してください。

通信エラー時のPowerCreditのアイコン



注意

通信エラー時に確認する項目

- **パソコンとバックアップ電源を接続している付属ケーブルが外れていないこと。**
- **バックアップ電源を接続しているパソコンのシリアルポートが使用可能な状態であること。**
- **他のソフトウェアがバックアップ電源を使用しているパソコンのシリアルポートを使用していないこと。**

シャットダウン動作の確認

シャットダウン動作の確認を行います。

注意

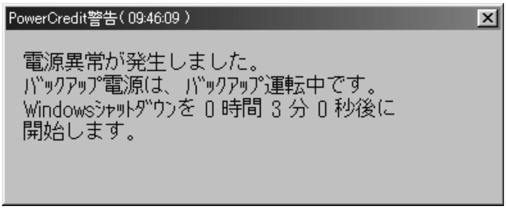
- **シャットダウン動作確認を実行する前に、必ず「2.3 Power Creditによるシャットダウン動作」→51ページを参照してください。シャッドダウン動作確認は、動作を理解した上で以下の手順に従って行ってください。**
- **シャットダウン動作確認は、バックアップ電源（本機）のバッテリー充電が完了した後で実施してください。バッテリー充電が完了する前にシャットダウン動作を行った場合、バックアップ電源が停止してしまうことがあります。**

2 自動シャットダウンソフト（Power Credit）

(1) タスクトレーのPowerCreditアイコン（電源プラグのアイコン）をダブルクリックして「PowerCreditモニター」画面を起動してください。
次のような「PowerCreditモニター」画面が表示されます。



(2) バックアップ電源（本機）のAC入力プラグをAC100Vコンセントから抜いてください。
次のようなシャットダウン開始を告げるメッセージが表示されます。



(3) バックアップ電源（本機）がバックアップ状態になり、「PowerCreditモニター」画面が次のような画面に変化し、カウントダウンを始めます。



停電時遅延時間やメッセージ表示間隔などの設定を変更したい場合は「環境設定」→59ページを参照してください。

(4) 30秒ごとに警告メッセージが表示され、1分後にWindowsのシャットダウンを開始します。

(5) Windowsシャットダウン後、バックアップ電源（本機）とパソコンの電源は自動的に切れます。

注意
Windows Meでご使用の場合、バックアップ電源（本機）の機種によっては自動的に切れません。詳しくは「Windows Meで使用する場合」→52ページを参照してください。なお、バックアップ電源（本機）が自動的に切れない場合は、バックアップ電源（本機）（本機）の「電源」スイッチを切ってください。

(6) バックアップ電源（本機）が停止した後に、バックアップ電源（本機）のAC入力プラグをAC100Vコンセントに接続してください。
(5)で、バックアップ電源（本機）の「電源スイッチ」を切った場合は、ここで「電源スイッチ」を入れてください。

(7) バックアップ電源（本機）が運転を再開し、パソコンに電力供給を開始します。電力供給が開始されると、パソコンは自動起動します。
なお、パソコンの機種によっては、自動起動しないものもあります。この場合、パソコンの「電源スイッチ」を入れて、パソコンを起動してください。

アンインストール
本ソフトを削除する方法について説明しています。削除したい場合のみ実行してください。

(1) Windowsの「スタート」ボタンをクリックし、「設定」－「コントロールパネル」を選択します。

(2) コントロールパネルの「アプリケーションの追加と削除」を選択します。
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ダイアログが表示されます。



2 自動シャットダウンソフト（Power Credit）

(3) 一覧から「PowerCredit」を選択し、「追加と削除」ボタンをクリックします。



(4) 「ファイル削除の確認」ダイアログが表示されたら、「はい」ボタンをクリックします。



(5) アンインストールが終了するまでしばらくお待ちください。

注意

- **アンインストール中に「共用ファイルを削除しますか？」という画面が表示される場合があります。「いいえ」または「すべていいえ」を選択してアンインストールを進めてください。**
- **共用ファイルは、他のアプリケーションソフトウェアから使用する可能性がありますので削除しないでください。**



（6）「アンインストールが完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックします。

2.3 Power Credit によるシャットダウン動作

バックアップ電源から停電信号を受け取ったり、ユーザーがシャットダウンを設定したりすると、Power Creditが状況に合わせてシャットダウン動作を行います。
シャットダウン動作の順序は使用しているパソコンのWindows（OS）によって多少異なります。
なお、各種シャットダウン機能の設定はモニター機能で行います。

参照 **「Power Creditのモニター機能」→56ページ**

シャットダウン動作の開始

PowerCreditがシャットダウン動作を開始する条件は、以下の4つがあります。

<バックアップ電源からの信号検知によるシャットダウン>

（1）停電検知信号をバックアップ電源から受け取ったとき
（2）バッテリー電圧低下の検知信号をバックアップ電源から受け取ったとき

<ユーザー設定によるシャットダウン>

（3）システムシャットダウン（特定日時、毎日）
（4）メニューバーの即時シャットダウンを選択したとき

これらの条件が発生しカウントダウンが0秒になった後に、作成中や編集中のファイル保存とアプリケーションソフトウェア終了を実行し、Windowsを終了します。

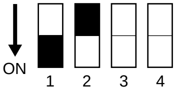
2 自動シャットダウンソフト（Power Credit）

シャットダウン動作順序

電源異常が発生したときのシャットダウン動作について説明します。
各動作の内容については、「シャットダウン動作の流れと意味」→54ページを参照してください。

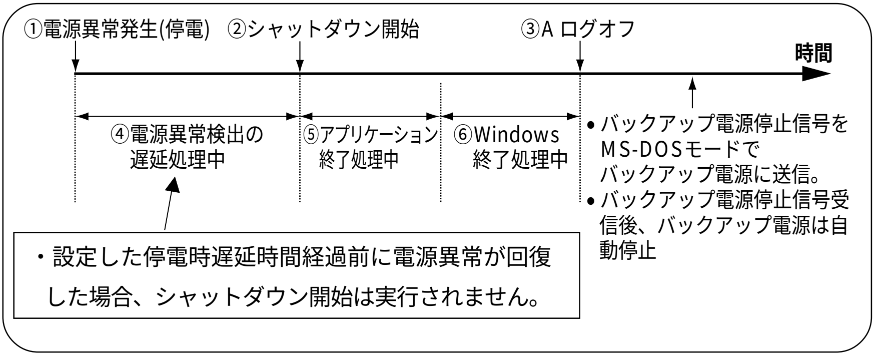
Windows 95/98 で使用する場合

本機の「設定」スイッチの「1」、「2」を以下のように電源出力停止遅延時間“0秒”に設定してください。



設定スイッチ1	設定スイッチ2	電源出力停止遅延時間
ON	OFF	0秒

動作順序は以下のとおりです。

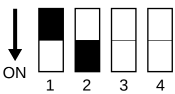


注意

シャットダウン開始後に電源異常が回復した場合、バックアップ電源の機種によっては自動停止しません。MS-DOS画面で「It's safe to turn off your computer」のメッセージを約90秒間表示し、ユーザーがパソコンの「電源」スイッチを切るのを待ちます。この間にパソコンの「電源」スイッチが切られなかった場合は、Power Creditが自動的にWindowsを再起動します。

Windows Meで使用する場合

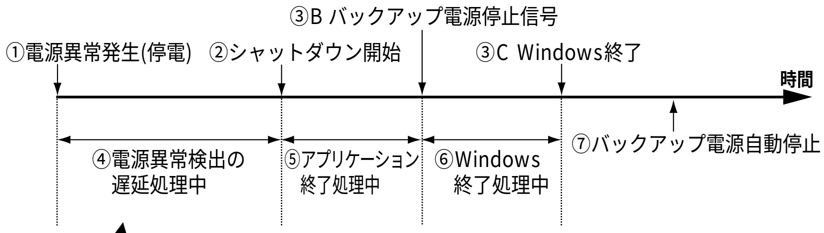
本機の「設定」スイッチの「1」、「2」を電源出力停止遅延時間“60秒”、“120秒”、“電源出力停止せず”から選択して設定してください。
本機に接続されている機器のOSのシャットダウンに必要な時間（OSのシャットダウン開始から電源停止可能となるパソコンが自動停止するまでの時間）より長めの時間を選んで設定します。



設定スイッチ1	設定スイッチ2	電源出力停止遅延時間
OFF	ON	60秒
ON	ON	120秒
OFF	OFF	電源出力停止せず

OSシャットダウンが120秒以上かかるときは、「電源出力停止せず」に設定してください。この場合は、本機は自動停止できませんのでOSシャットダウン後も停電が継続するときは、本機の「電源」スイッチで停止してください。

動作順序は以下のとおりです。



・設定した停電時遅延時間経過前に商用電源が回復した場合、シャットダウン開始は実行されません。

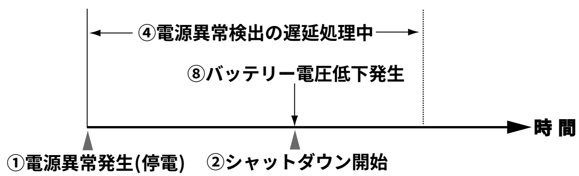
・シャットダウン開始後に電源異常が回復しても、必ずバックアップ電源停止まで実行します。
Windows Me終了後、電源異常が回復しても、すぐにパソコンの電源を入れないでください。必ずバックアップ電源が停止し、バックアップ電源が再起動した後にパソコンの電源を入れてください。

注意

シャットダウン処理中にAC電源が回復した場合
シャットダウン処理が終了し、パソコンが停止した後は、商用電源が回復していてもパソコンを再起動しないでください。
必ず本機が一度出力停止（電源出力停止遅延時間で設定された時間経過時）するまでそのまま待ってから、再立ち上げの操作をしてください。本機が停止する前にパソコンを起動すると、パソコンが動作中に停止します。

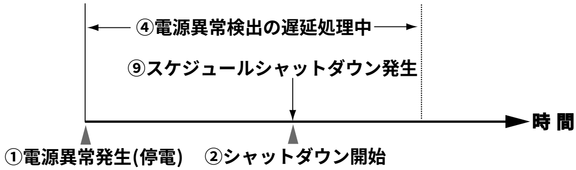
シャットダウン動作を開始する条件が複数発生した場合のシャットダウン開始までの動作

・停電待機中にバッテリー電圧低下が発生した場合



2 自動シャットダウンソフト（Power Credit）

・停電待機時間中にスケジュールシャットダウンが発生した場合



シャットダウン動作の流れと意味

電源異常が発生したときの、シャットダウン動作の流れについて説明します。

①	電源異常発生(停電)	電源異常が発生しました。バックアップ電源から接続している機器へ電力供給を開始します。
②	シャットダウン開始	シャットダウン開始までの停電時遅延時間を経過しても、電源異常が回復しなかったので、シャットダウンを開始します。
③A	ログオフ	Windowsを終了し、MS-DOSモードになります。 MS-DOSモードになるのはWindows 98/95のみです。
③B	バックアップ電源停止信号	バックアップ電源停止信号をバックアップ電源に送信します。
③C	Windows終了	Windowを終了しました。パソコンの電源を切ることができます。
④	電源異常検出の遅延処理中	電源異常を検出していてもすぐにWindowsのシャットダウンを開始しません。 設定されているP.24「停電時遅延時間」が経過しても電源異常が回復していない場合には、シャットダウンを実行します。
⑤	アプリケーション終了処理中	ファイルを保存し、アプリケーションを終了しています。
⑥	Windows終了処理中	Windowsを終了しています。
⑦	バックアップ電源自動停止	バックアップ電源の「設定スイッチ」で設定した電源停止遅延時間になりましたので、バックアップ電源を停止します。
⑧	バッテリー電圧低下発生	バッテリー残量が少なくなっています。まもなくバックアップ電源は停止します。
⑨	スケジュールシャットダウン発生	スケジュールシャットダウンの時刻になりました。

アプリケーションデータの終了とデータ保存について

・PowerCreditは、設定した停電時遅延時間経過後、作成中や編集中のファイルの自動保存とアプリケーションソフトウェアの終了を行い、Windowsを終了します。
・実行中だったアプリケーション名、保存した作成中のファイルは、Windowsシステムを再起動した後に、Power Creditのモニター機能「アプリケーション情報」→〇〇ページで確認できます。
・作成中のファイルは、\Windows\tempフォルダ内に自動的に重複しないファイル名を付け、保存します。
ファイル名は、以下のように付けられます。

例：
c:\windows\temp\1023073913440.doc

10：月
23：日
07：時
39：分
13：秒
440：1/1000秒

・編集中のファイルは、自動的に現在のファイルに上書き保存されます。また、Outlook Express、Outlook、Notesなどの作成中のメールや編集中のメールは「下書き」フォルダに保存されます。

注意

・MS-DOSアプリケーションの編集中のファイルは保存はできません。

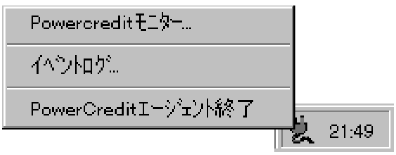
・その他、アプリケーションソフトによっては、作成中のファイルや編集中のファイルを自動保存できない場合があります。

バックアップ電源の監視と終了／再開

バックアップ電源の監視を終了するには

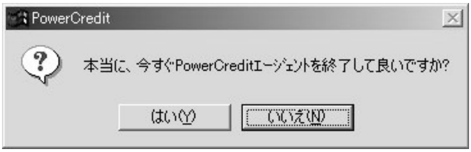
（1）タスクトレーのPowerCreditアイコンを右クリックします。

（2）メニューが表示されたら「PowerCreditエージェント終了」を選択します。



2 自動シャットダウンソフト（Power Credit）

（3）確認ダイアログで｢はい｣を選択します。

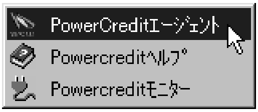


注意

監視を終了すると、電源プラグのアイコンは表示されなくなります。また、電源異常が発生し、バックアップ電源がバックアップ運転を行っていても、本ソフトウェアは、シャットダウン動作を行いません。

バックアップ電源の監視を再開するには

（1）｢スタート｣ボタンをクリックし、「プログラム」－｢PowerCredit｣－｢PowerCreditエージェント｣を選択します。



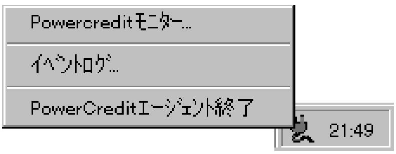
Windowsを再起動しても、バックアップ電源の監視を再開します。

2.4 Power Credit のモニター機能

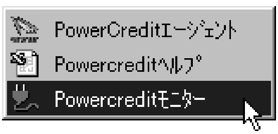
バックアップ電源の監視状況をモニターするためのPower Creditモニターについて説明します。

Power Creditモニターの起動

(1) タスクトレーのPowerCreditアイコンを右クリックし、「PowerCreditモニター...｣を選択します。

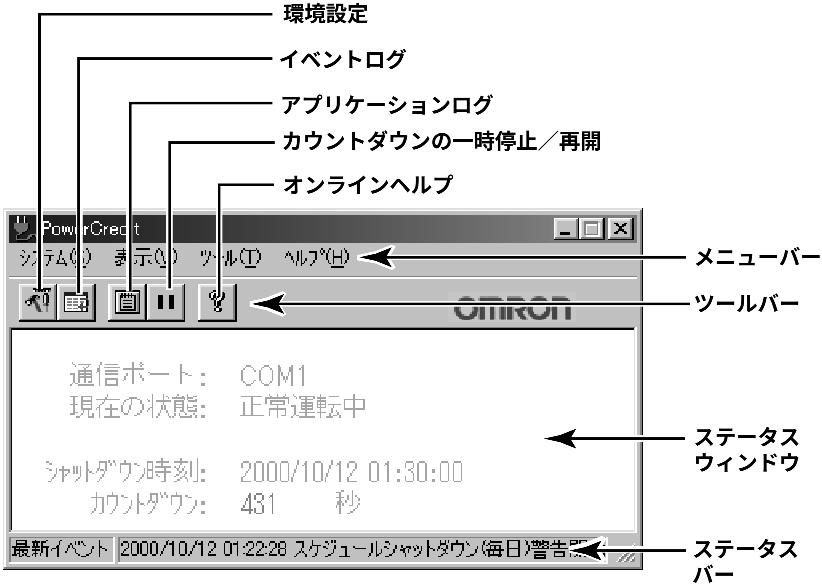


(2) ｢スタート｣ボタンをクリックし、「プログラム」－｢PowerCredit｣－｢PowerCreditモニター｣を選択します。



Power Creditモニター画面

PowerCreditモニターを起動すると、次のような画面が表示されます。
バックアップ電源の現在の状態を表示したり、メニューバーやツールバーから設定などの操作ができます。



ステータスウィンドウとステータスバー

ステータスウィンドウやスタータスバーについて説明します。

項　目	表示内容
通信ポート	バックアップ電源が接続されているポート番号（ＣＯＭ１～ＣＯＭ４）を表示します。また、バックアップ電源が接続されていないときは[通信なし]と表示されます。
現在の状態	バックアップ電源の現在の状態を表示します。 正常運転中：バックアップ電源は正常運転しています。 バッテリー運転中：バックアップ電源は電源異常を検出しました。バッテリー運転しています。 バッテリーロー：バックアップ電源のバッテリー残量が少なくなっています。まもなくバックアップ電源は停止します。 通信断：バックアップ電源との通信が切断されています。

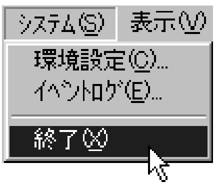
2 自動シャットダウンソフト（Power Credit）

項　目	表示内容
シャットダウン時刻	・電源異常が発生している時は、シャットダウン開始予定時刻をあらわしています。 ・スケジュールシャットダウン(指定日時、毎日)を使用する、に設定しているときは、そのシャットダウン予定時刻をあらわしています。
カウントダウン	・電源異常時は、環境設定で設定された停電時遅延時間のシャットダウン予定時間までの残り時間をあらわしています。 ・スケジュールシャットダウン(指定日時、毎日)を使用する、に設定している時はシャットダウン設定時刻の30分前からカウントダウンを開始します。 ・停電時遅延時間のカウントダウン中、ツールメニューのカウントダウンの一時停止を選択するとカウントダウンを一時停止することができます。カウントダウンの再開を選択すると再度カウントダウンを再開します。 ・停電時遅延時間のカウントダウン中に他のシャットダウンイベントが発生した場合、その時点でのシャットダウンまでのカウントダウン時間が短い方が優先されます。
ステータスバー	最新のイベントとその時刻を表示します。

Power Creditモニターの終了

PowerCreditモニター機能を終了します。

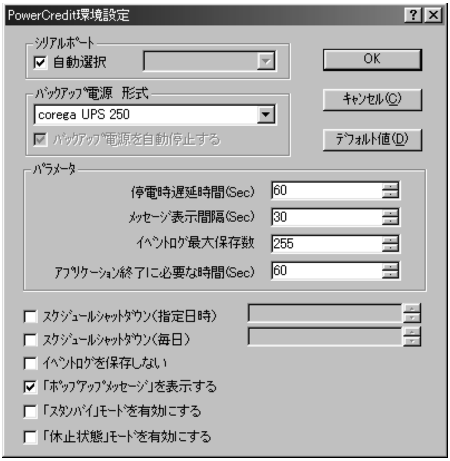
(1) [システム]メニューから[終了]を選択します。



環境設定

Power Creditのシャットダウン動作に関する設定を行います。

(1) 「Power Creditモニター」画面の「システム」メニューから「環境設定」を選択する、またはツールバーボタン（「自動シャットダウンソフト（Power Credit）のメニューバー／ツールバー」→81ページ）をクリックします。
「Power Credit環境設定」画面が表示されます。



スケジュールシャットダウン（指定日時）の設定方法

（西暦年号4桁/月2桁/日2桁　時2桁：分2桁
下図例では2000年12月31日20時00分）



（チェックボックスオンの状態）

チェックマークを外してから、再度チェックマークを入れるとき、初期設定の日時は、現在の1日後に設定されています。この設定日時を変更するには、変更したい数値上をマウスで選択してから、右端の上下ボタンをマウスでクリックします（または、キーボードの上下キーを押す）。

スケジュールシャットダウン（毎日時）の設定方法

(時2桁：分3桁。下図例では18時00分)



チェックマークを外してから、再度チェックマークを入れるとき、初期設定の時間は、18:00に設定されています。この設定時間を変更するには、変更したい数値上をマウスで選択してから、右端の上下ボタンをマウスでクリックして（もしくはキーボードの上下キーを押して）ください。

2 自動シャットダウンソフト（Power Credit）

「休止状態」シャットダウンの動作確認

この機能を使用する前に、必ずWindows Meが「休止状態」でシャットダウンできるかご確認ください。

(1) 「PowerCredit環境設定」画面を表示し、「休止状態を有効にする」と「スタンバイモードを有効にする」のチェックボックスにチェックマークを付け、［OK］ボタンをクリックしてください。

(2) 「スタート」⇒「Windowsの終了」⇒「休止状態」を選択し、［OK］ボタンをクリックしてください。

(3) Windows Meが「休止状態」でシャットダウンできた場合、本ソフトウェアの「休止状態」シャットダウン機能を使用できます。
また、「休止状態」でシャットダウンできなかった場合、この機能を使用することはできません。
「PowerCredit環境設定」画面を表示し、「休止状態を有効にする」と「スタンバイモードを有効にする」のチェックマークを外して、［OK］ボタンをクリックしてください。

UPS 250をWindows Meで使用される場合、電源停止遅延時間を60秒以上で設定してください（デフォルト設定値［120秒］で使用することをおすすめします）。

イベントログ

Power Creditの実行状態、バックアップ電源の動作、およびユーザー動作の記録を表示して確認します。

(1) 「Power Creditモニター」画面の「システム」メニューから「イベントログ」を選択する、またはツールバーボタン（「自動シャットダウンソフト（Power Credit）のメニューバー／ツールバー」→81ページ）をクリックする
「Power Creditイベントログ」画面が表示されます。
イベントログ情報は、印刷したり、消去することができます。

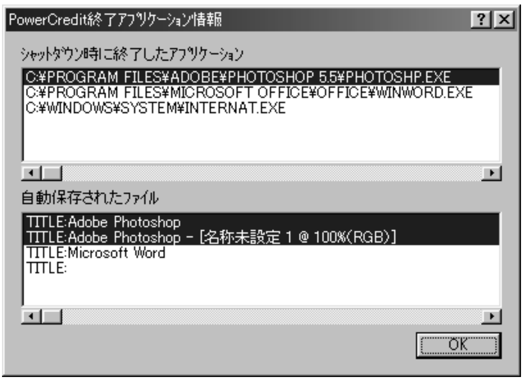


記録されるイベント	
項　　目	**内　　容**
<PowerCreditの実行状態>	PowerCreditエージェント開始 PowerCreditエージェント停止 スケジュールシャットダウン(毎日)警告開始 スケジュールシャットダウン(毎日)実行 スケジュールシャットダウン(指定日時)警告開始 スケジュールシャットダウン(指定日時)実行
<バックアップ電源の動作>	バックアップ電源異常 電源異常によるシャットダウン バッテリーロー発生 バッテリーローによるシャットダウン バックアップ電源回復, 通信断, 通信確立
<ユーザー動作＞	パラメータの変更OK システムの即時シャットダウン

アプリケーション情報

Power Creditによるシャットダウン動作中に起動されていたアプリケーション名や自動保存されたファイル名を、Windows再起動後に表示して確認します。

(1) 「Power Creditモニター」画面の「ツール」メニューから「アプリケーション情報」を選択する、またはツールバーボタン(「自動シャットダウンソフト(Power Credit)のメニューバー／ツールバー」→81ページ)をクリックする
「Power Credit終了アプリケーション情報」画面が表示されます。



2 自動シャットダウンソフト（Power Credit）

項　　目	内　　容
シャットダウン時に終了したアプリケーション	終了したアプリケーションの実行ファイル名を示します。
自動保存されたファイル	**TITLE:** 終了したアプリケーションのウィンドウタイトルを示します。 **NEW FILE:** 自動保存されたファイル名を示します。保存先は\windows\tempフォルダです。また、Outlook Express、Outlook、Notesで作成しているメールは、「下書き」フォルダに保存されます。

注意

- **フロッピーディスクからデータを読み込んでファイルを開いている場合、フロッピーディスクをドライブから抜かないでください。ファイルを開いたままフロッピーディスクをドライブから抜いている状態で電源異常が発生した場合、Power Creditが自動シャットダウンを開始しても、アプリケーションソフトウェアおよびWindowsを正常に終了することができません。**
- **起動しているアプリケーションソフトウェアによっては、作成中のファイルや編集中のファイルを自動保存できない場合があります。**
- **作成中のファイル名が表示されない場合は、Windows\tempフォルダを確認してください。また、Outlook Express、Outlook、Notesで作成しているメールは、「下書き」フォルダに保存されます。ファイル保存時、自動的につけられる作成中のファイル名については、「アプリケーションデータの終了とデータ保存について」→55ページを参照してください。**
- **「休止状態」モードでシャットダウンを行った場合、「Power Credit終了アプリケーション情報」画面には何も記録されません。**

2.5 こんなときには

バックアップ電源と通信ができない場合

付属ケーブルでパソコンとバックアップ電源が正しく接続されているか、確認してください。

初期設定では、シリアルポートは自動選択になっていますが、固定設定に変更した場合は、付属ケーブルが接続されているパソコンのシリアルポートとPowerCreditの環境設定の「シリアルポート」が一致しているか、確認してください。

バックアップ電源を接続しているシリアルポートを固定にしたい場合

Power Creditモニターを起動し、環境設定を変更します。

[変更方法]

(1) 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」―「PowerCredit」―「PowerCreditモニター」を選択します。

(2) 「システム」メニューから「環境設定」を選択します。
「PowerCredit環境設定」ダイアログが表示されます。

(3) 「シリアルポート」項目の「自動選択」のチェックマークを外します。

(4) ▼をクリックし、プルダウンメニューから固定にしたいCOMポートを選び、「OK」ボタンをクリックします。



アクティブデスクトップの修復が求められた場合

InternetExplorer4.01以降のブラウザを使用している場合で、かつアクティブデスクトップを使用している場合、シャットダウン動作後、Windowsが再起動したときにアクティブデスクトップの修復を求められる場合があります。この場合、アクティブデスクトップ画面上の“アクティブデスクトップの修復”部分をマウスでクリックすることでシャットダウン前の状態にアクティブデスクトップ画面を修復することができます。

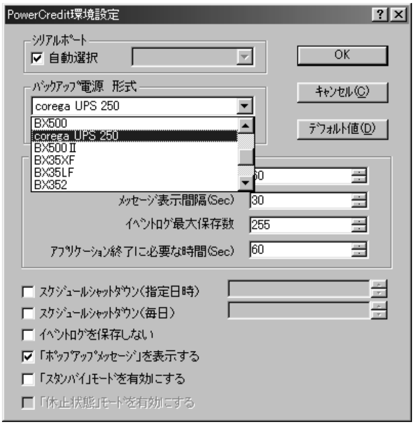
2 自動シャットダウンソフト（Power Credit）

パソコンに接続しているバックアップ電源の機種を変更した場合

Power Creditモニターを起動し、環境設定を変更します。

[変更方法]

(1) 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」－「PowerCredit」－「PowerCreditモニター」を選択します。
(2) 「システム」メニューから「環境設定」を選択します。
「PowerCredit環境設定」ダイアログが表示されます。
(3) 「バックアップ電源形式」項目の　をクリックし、プルダウンメニューから接続する機種を選び、「OK」ボタンをクリックします。



アプリケーションソフトをインストール中にシャットダウン動作が発生した場合

アプリケーションソフトのインストール中にシャットダウン動作が発生した場合、インストールの途中終了のためにユーザーによるマウス（またはキーボード）入力操作が必要となり、この操作が実行されるまでWindowsの終了動作を一時停止することがあります。インストール作業は確実に終了してください。

Windowsを終了できない場合

Windowsを正常終了できない場合、「PowerCredit環境設定」の「停電時遅延時間」の時間設定を60秒以上に設定してください。なお、設定方法は、「Windows 95/98で使用する場合」→52ページをご覧ください。

エディタソフトウェア「秀丸」をご使用される場合

「アプリケーション終了に必要な時間」を90秒以上に設定してください。

Windows 98が終了できない場合

Windows 98が終了できない場合、OSの設定を一部変更してみてください。

[変更方法]

(1) Windowsの「スタート」ボタンをクリックし、「ファイル名を指定して実行」を選択します。
(2) 「名前」の欄に「msconfig」と入力し、「OK」ボタンをクリックします。
(3) 「msconfig」の画面が表示されますので、「全般」タブの「詳細設定」を開き、「高速シャットダウンを使用不可にする」をチェックしてください。
(4) チェック完了後、「OK」ボタンをクリックして「詳細設定」画面を終了し、さらに「OK」ボタンをクリックして「msconfig」画面を終了してください。

Windows 95が終了できない場合

Windows 95が終了できない場合、「Microsoft Internet Explore4.01 SP1」をインストールしてください。

「Norton AntiVirus Ver5.0」をインストールしているとき、Windows 98/95が終了できない場合

「Norton AntiVirus Ver5.0」をインストールしているパソコンで、
Windows 98/95が終了できない場合は、「Norton AntiVirus Ver5.01.01」へアップグレードしてください。
改善できない場合は、ソフトウェアメーカー「シマンテック」へお問い合わせください。

Windows起動時にスタックオーバーフローが発生した場合

「スタックオーバーフロー。System.ini.のMinSPsの設定を増やすか、最近インストールしたVxDを削除してください。」というエラーメッセージが発生した場合は、以下のように対処してみてください。

[対処方法]

(1) 不要なソフトウェアの常駐を解除してください。
(2) (1)ができない場合、System.iniの「386Enh」セクションにMinSPs=4の記述を追加してください。
改善しない場合は、MinSPsの数字を6, 8, 10と2ずつ増やして解消されるかご確認ください。
すでに記述がある場合は、MinSPsの数字を2ずつ増やしてみてください。

Windowsに関する質問やトラブルは、「マイクロソフト　サポート技術情報」をご参照ください。
【ホームページアドレス】http://www.microsoft.com/japan/support

2.6 Windows NT4.0の標準UPSサービスを使用する場合

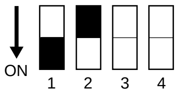
Microsoft Windows NT4.0をご使用の場合、本機の付属ケーブルでパソコンと接続することにより（「バックアップ電源との接続方法」→19ページ）、Windows NT4.0標準搭載のUPS管理ソフトによる自動退避処理をご利用いただけます。

注意

Power Creditは、Windows NT4.0には対応しておりません。

設定スイッチの選択

設定スイッチ「1」「2」を電源出力停止遅延時間“0秒”に設定してください。



設定スイッチ1	設定スイッチ２	電源出力停止遅延時間
ON	OFF	0秒

- **WindowsNT4.0サーバでご使用になる方は、サーバのメニューで次のように設定してください。**
  特にリモート無停電電源シャットダウンの設定を間違えると、停電時にバックアップできなくなりますのでご注意ください。
  詳しくはWindowsNT4.0マニュアルの「無停電電源の設定」のページまたはWindowsNT4.0のヘルプファイルをご覧ください。
  信号設定は下記の通りです。
  電源停止信号 ： 負（初期値はWindowsNT4.0サーバが負、OS2Lanサーバが正）
  バッテリー容量低下信号 ： 負（初期値はWindowsNT4.0サーバが負、OS2Lanサーバが負）
  リモート無停電電源シャットダウン ： 正（初期値はWindowsNT4.0サーバが負、OS2Lanサーバが負）
- **NetWareでご使用になる方は、コマンド入力画面にして、下記のように入力し、ファイルサーバにUPSモジュールをロードしてください。**

  ```
  LOAD　UPS　TYPE＝6 PORT＝__　REV=2
  ```

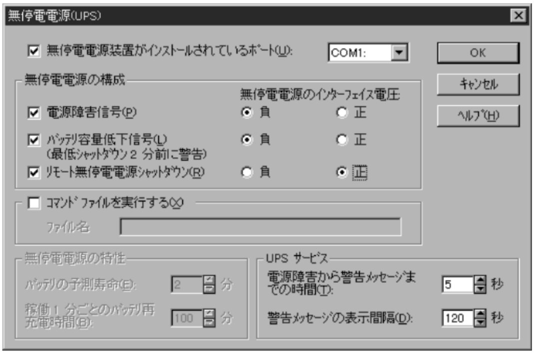
  入力後、Enterを押します。
  PORT=の後にUPS 250を接続したシリアルポートの番号を入力してください。（1または2）

UPS管理ソフトのセットアップ

(1) コントロールパネル内の“無停電電源装置”アイコンをダブルクリックします。

(2) 無停電電源装置がインストールされているポート(U)… の左のチェック欄をクリックしチェックマークをつけます。
設定欄はバックアップ電源を接続したシリアルポート(ＣＯＭ１～４)の番号を選択してください。

(3) 無停電電源の構成枠内の電源障害信号、バッテリ容量低下信号、リモート無停電電源シャットダウンの各信号項目左のチェック欄をクリックし、チェックマークをつけます。



各信号のインターフェイス電圧の設定を下記の通り設定します。

・電源障害信号(Ｐ)... 負

・バッテリ容量低下信号(Ｌ)............................... 負

・ リモート無停電電源シャットダウン(Ｒ)......... 正

注意

インターフェイス電圧の信号設定を間違えるとWindowsNT4.0がバックアップ電源からの信号を受け取れない、または停電時にバックアップ電源が停止しなくなりますのでご注意ください。チェックマークをチェックしていない場合も同様です。

(4) 設定後コントロールパネル内の“サービス”アイコンをダブルクリックします。

(5) UPSサービスを指定し「開始」ボタンをクリックしてください。



2 自動シャットダウンソフト（Power Credit）

・無停電電源サービスは、Alerterサービス、Messengerサービス、Event logサービスをあらかじめ開始しておくことで、停電などのイベント発生時にユーザー警告メッセージ、およびその履歴の記録をおこなえます。

・停電が発生した時、バッテリー電圧低下信号を検知してから、Windowsのシャットダウンが実行されます。バッテリー低電圧信号を検知する前に、停電が回復した場合は、Windowsのシャットダウンは実行されず、通常の監視状態に戻ります。

2.7 Windows 2000の標準UPSサービスを使用する場合

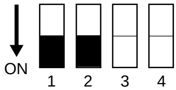
Microsoft Windows 2000をご使用の場合、本機の付属ケーブルでパソコンと接続することにより(「バックアップ電源との接続方法」→19ページ)、Windows 2000標準搭載のUPS管理ソフトをご利用いただけます。

注意

・Power Creditは、Windows 2000には対応しておりません。
・Windows 2000の標準UPSサービスでは、バックアップ電源を停止する機能はありません。

設定スイッチの選択

設定スイッチ「1」「2」を電源出力停止遅延時間“ 60秒 ”、“ 120秒 ”、“ 電源出力停止せず ”から選択して設定してください。



設定スイッチ1	設定スイッチ２	電源出力停止遅延時間
OFF	ON	60秒
ON	ON	120秒
OFF	OFF	電源出力停止せず

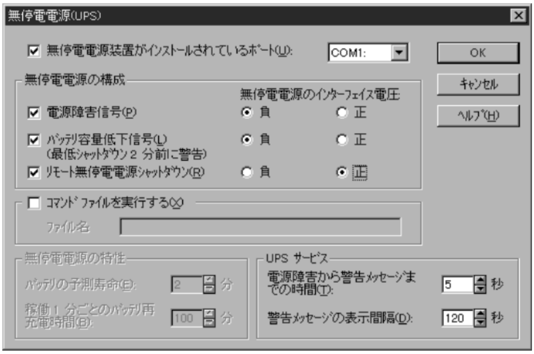
Windows2000でご使用になる場合は、専用のドライバソフトをインストールする必要があります。
専用ドライバは弊社ホームページからダウンロードできます。
インストール方法はドライバソフトに添付されているインストールマニュアルを参照ください。

UPS管理ソフトのセットアップ
（バッテリー容量低下によりWindowsをシャットダウンする場合）

(1) コントロールパネル内の“ 無停電電源装置 ”アイコンをダブルクリックします。

(2) 無停電電源装置がインストールされているポート（U）… の左のチェック欄をクリックしチェックマークをつけます。
設定欄はバックアップ電源を接続したシリアルポート（ＣＯＭ１～４）の番号を選択してください。

(3) 無停電電源の構成枠内の電源障害信号、バッテリ容量低下信号、リモート無停電電源シャットダウンの各信号項目左のチェック欄をクリックし、チェックマークをつけます。



各信号のインターフェイス電圧の設定を下記の通り設定します。

- **電源障害信号（Ｐ）... 負**
- **バッテリ容量低下信号（Ｌ）............................ 負**
- **リモート無停電電源シャットダウン（Ｒ）....... 正**

注意

インターフェイス電圧の信号設定を間違えるとWindowsNT4.0がバックアップ電源からの信号を受け取れない、または停電時にバックアップ電源が停止しなくなりますのでご注意ください。チェックマークをチェックしていない場合も同様です。

(4) 設定後コントロールパネル内の“ サービス ”アイコンをダブルクリックします。

2 自動シャットダウンソフト（Power Credit）

(5) UPSサービスを指定し｢開始｣ボタンをクリックしてください。



・ 無停電電源サービスは、Alerterサービス、Messengerサービス、Event logサービスをあらかじめ開始しておくことで、停電などのイベント発生時にユーザー警告メッセージ、およびその履歴の記録をおこなえます。

・ 停電が発生した時、バッテリー電圧低下信号を検知してから、Windowsのシャットダウンが実行されます。バッテリー低電圧信号を検知する前に、停電が回復した場合は、Windowsのシャットダウンは実行されず、通常の監視状態に戻ります。

注意

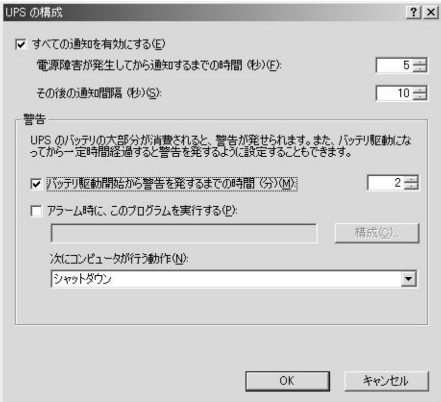
バックアップ電源の停止について
Windows 2000のUPSサービスではバックアップ電源を停止する機能はありません。Windowsシャットダウン後にバックアップ電源の｢電源｣スイッチを手動で切ってください。

UPS管理ソフトのセットアップ
（設定した時間経過によりWindowsをシャットダウンする場合）

（1）前項のセットアップ完了後、電源オプションのウインドウ内の“構成”ボタンをクリックします。



（2）警告枠内の“ バッテリ駆動開始から警告を発生するまでの時間 ”の左欄をクリックしチェックマークをつけます。
左端ウインドウ内に停電が発生してからWindowsのシャットダウンを開始するまでの時間を設定します。
（設定範囲2 〜720 分）
“ OK ”ボタンをクリックします。



（3）電源オプションのウインドウ内の“ OK ”ボタンをクリックします。
これでセットアップは完了です。



停電が発生した場合、設定した時間経過後、またはバックアップ電源のバッテリー電圧低下信号を検出してから、Windowsのシャットダウンを開始します。
設定時間を経過する前に停電が回復した場合には、Windowsのシャットダウンは開始されず、通常の監視状態に戻ります。

2 自動シャットダウンソフト（Power Credit）

ヘルプ機能について

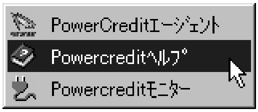
PowerCreditには、各機能や操作・設定方法などに関する説明を記述したオンラインヘルプが用意されています。必要に応じて、取扱説明書とともにオンラインヘルプもご利用ください。

オンラインヘルプを表示するには、次の3とおりの方法があります。

・PowerCreditモニターの[ヘルプ]->[PowerCreditヘルプ]をクリックします。



・Windowsの[スタート]から[プログラム]->[PowerCredit]->[PowerCreditヘルプ]をクリックします。



・PowerCreditモニターの アイコンをクリックします。



オンラインヘルプの構成は以下のようになっています。

・**PowerCreditヘルプ目次**
・**PowerCreditへようこそ** .... PowerCreditの紹介をしています。
・**PowerCreditの機能概要** .... PowerCreditの主な機能について説明しています。
・**PowerCreditの使い方** .... PowerCreditの操作方法について説明しています。
・**PowerCreditの環境設定** .... PowerCreditのさまざまな設定方法について説明しています。
・**PowerCreditのその他の機能** ...... PowerCreditの便利な機能について説明しています。
・**その他** .... 困ったときの対処方法などを説明しています。

オンラインヘルプでは、「キーワード」を使用して検索することができます。

検索キーワード例：・接続
・環境設定
・シャットダウン動作
・カウントダウン
・イベントログ　　　　など

なお、オンラインヘルプの操作については、Windowsの[スタート]－[ヘルプ]をクリックし、表示された[Windowsのヘルプ]ダイアログをご参照するか、
Windowsのマニュアルをご参照してください。

3 付録

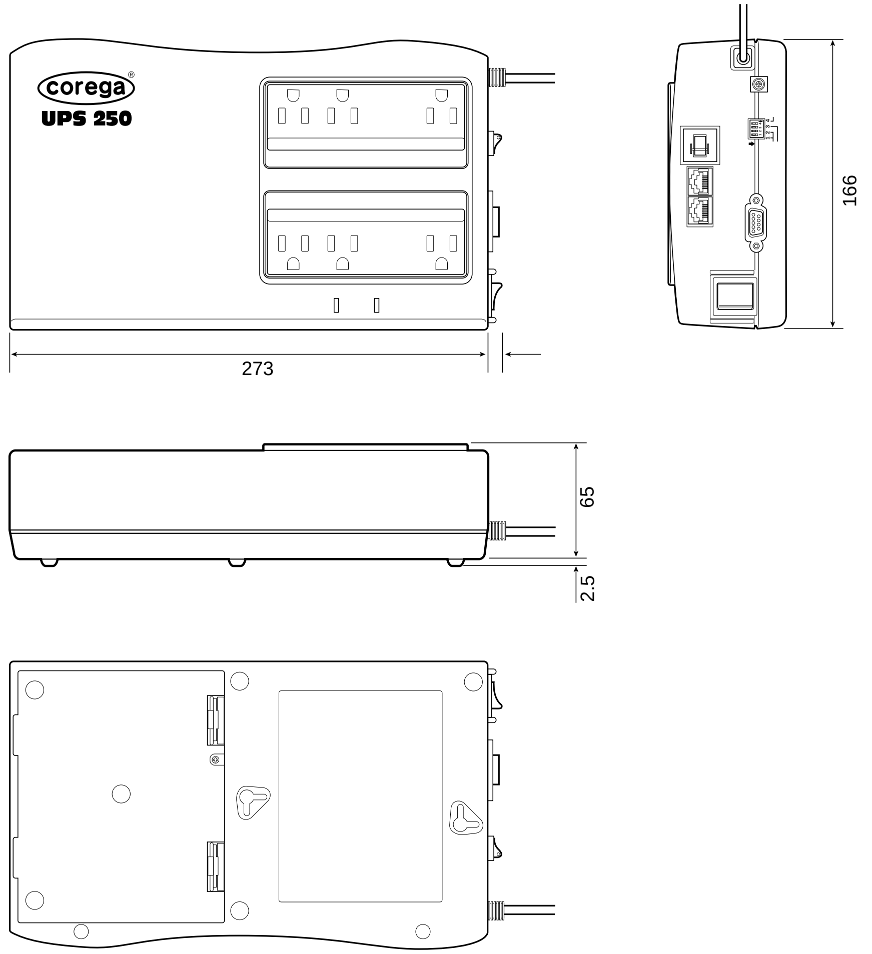
製品仕様

■運転方式：	常時商用給電方式	
■入力電源：	電　　圧	AC100 ±10%
	周 波 数	50/60Hz ±4Hz
	電　　流	10A（最大）
■バックアップ出力：	コンセント	アース付3P×3口
	電　　圧	AC100 ±10%
	周 波 数	50/60Hz ±1Hz
	容　　量	250VA/168W
	波　　形	矩形波
■スルー出力：	コンセント	アース付3P×3口
	容　　量	700VA（7A）
■バッテリー：	種　　類	小型シール鉛バッテリー
	充電時間	約12時間
■バックアップ時間：	約3.5分（20℃、定格負荷時の初期値）	
■警報出力：	LEDとブザーによる警報 停電／停電反転／バッテリーLow／バックアップ停止	
■回線サージ保護コネクター：	RJ-45 電話回線，ISDN回線，10BASE-T，100BASE-TX 接続可	
■環境条件：	動 作 時：	温度0～40℃／湿度80%以下 （結露なきこと）
	保 管 時：	温度-20～60℃／湿度95%以下 （結露なきこと）
■サイズ：	273（W）×166（D）×67.5（H）mm（突起部含まず）	
■重量：	2.5kg	

別売品

交換用バッテリーパック形式名：　BP25XT（オムロン製）
交換用バッテリーパックはオムロン製品取り扱い店でお求めください。

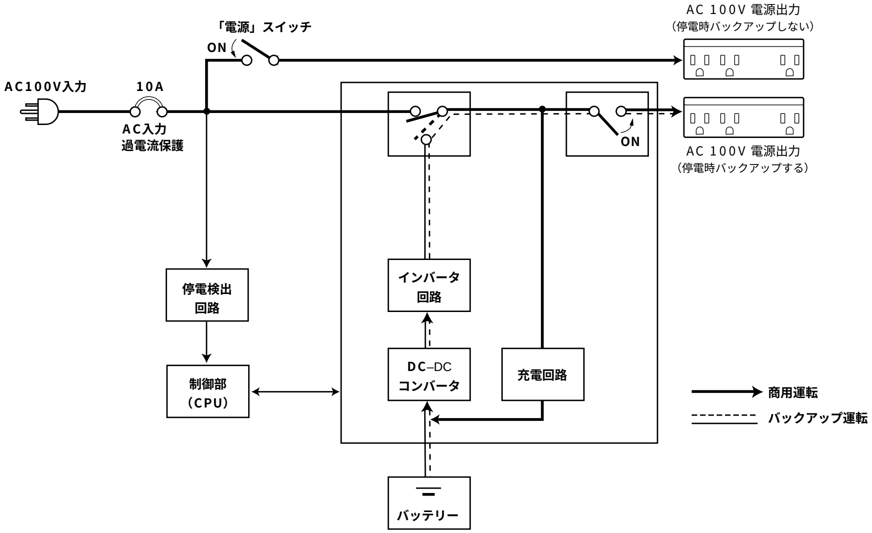
外形図



3 付録

回路ブロック図

本機は通常、商用電源からの入力をそのまま電源出力すると同時に、バッテリーの充電を行います。停電あるいは電圧変動が発生すると、バッテリーによる運転に切り替えて電源出力を継続します。その際、ブザーが断続的になります。
停電が回復すると、自動的に通常の商用電源での運転状態に戻り、ブザーは停止します。お客様の特別な操作は必要ありません。



信号入出力機能を使用する場合

下記仕様に合わせてお客様が独自にシステムを開発されることで、停電時の処理を自動化できます。バックアップ信号をシステムで検知し、停電処理や、バッテリーLow信号をシステムで検知してシステムの終了処理をおこなえます。また、システムからバックアップ電源停止信号を入力することにより、バッテリーに余力を残した状態でUPS 250を停止し、次の停電発生に備えることができます。

信号出力の形式

UPS 250は3種類の信号出力を持っています。出力回路はフォトカプラを使用したオープンコレクタ回路（一種の電子スイッチ）になっています。

BU-COM	停電時ON
$\overline{\text{BU}}$-COM	停電時OFF

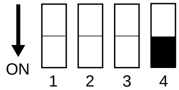
- **バックアップ信号出力 BU、BU**
  停電中継続してON (BUはOFF) になります。

BL-COM	バッテリーLow時ON

- **バッテリーLow信号出力 BL**
  バックアップ運転時でバッテリーの残量が少なくなった時にONになります。

BS-COM	BX25XT停止

バックアップ電源停止信号(BS)入力の形式



ON： 0.01秒（10ms）以上継続するバックアップ電源停止信号（High）を入力することで、BX25XTの電源出力を停止できます。バックアップ運転中のみ停止信号を受け付け電源出力を停止できます。
　商用運転中にバックアップ電源停止信号が入っても停止させたくない時はこの設定にします。

OFF： 10秒以上継続するバックアップ電源停止信号（High）を入力することでBX25XTの電源出力を停止できます。商用運転中でも電圧信号入力で電源出力を停止します。

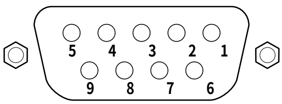
・「停電時バックアップしない」側の電源出力は停止信号で停止することができません。

システムとの接続

システムとの接続ケーブルはお客様で作成願います。

参照 **「7. 回路使用例」→36ページ**

信号入出力コネクタ (DSUB9Pメス）

<table>
<tr><th>ピン配置</th><th>ピン番号</th><th>信号名</th></tr>
<tr><td rowspan="9">

フロントビュー
ネジサイズ： インチネジ
#4-40 U N C</td><td>1</td><td>FG</td></tr>
<tr><td>2</td><td>BU</td></tr>
<tr><td>3</td><td>$\overline{\text{BU}}$</td></tr>
<tr><td>4</td><td>COM</td></tr>
<tr><td>5</td><td>BL</td></tr>
<tr><td>6</td><td>BS</td></tr>
<tr><td>7</td><td>COM</td></tr>
<tr><td>8</td><td>NC</td></tr>
<tr><td>9</td><td>NC</td></tr>
</table>

信号入出力定格

●信号出力（BU、$\overline{\text{BU}}$、BL）

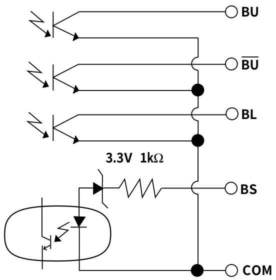
フォトカプラ定格	入力電圧
印加可能電圧	DC35V以下
最大電流	10mA

●バックアップ電源停止信号入力（BS）

High	DC5～12V
Low	DC0.7V以下

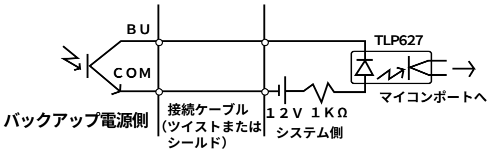
3 付録

本機内部の信号入出力回路

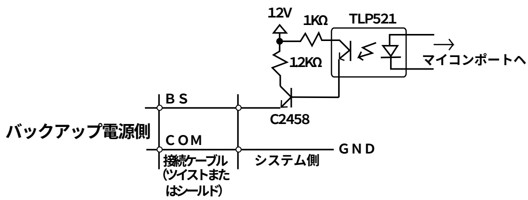


信号入出力回路使用例

●BU信号の使用例



●BS信号の使用例



注意

- 信号出力回路にリレーなど逆起電力の発生する機器を接続する場合は、逆起電力を防止するダイオードをリレーの両端に付けてください。
- 停電中にバックアップ電源が自動停止した後に停電が回復した場合、本機は自動的に再起動し電力を供給します。接続機器を動作させたくないときは、接続機器のスイッチをOFFにしてください。

Power Creditのソフトウェア使用許諾契約書について

本ソフトウェアをパソコンへインストールされた場合は、次のソフトウェア使用許諾書(以下本契約)内容にご同意いただけたものといたします。
ご同意いただけない場合には、本ソフトウェアをパソコンにインストールしないでください。

[ソフトウェア使用許諾契約書]

オムロン株式会社(以下オムロンといいます)がお客様にソフトウェア商品(以下ソフトウェア)を使用許諾する条件を定めたものです。
必ずソフトウェアをご使用になる前に、以下の事項に注意してお読みください。

1. 本契約にいう「ソフトウェア」とは、本パッケージに含まれるコンピュータ・プログラムおよびそれに関連する技術資料などのすべてを含みます。ソフトウェアにかかわる著作権その他の知的財産権はオムロンまたはオムロンに使用許諾をしている第三者に帰属し、本契約によりお客様に移転することはありません。お客様がそれらの権利を侵害した場合、前述のオムロンまたはオムロンに使用許諾をしている第三者に対する責任は、お客様が負うものとします。

2. オムロンは、お客様がバックアップ電源を管理する目的のみでソフトウェアを使用する非独占権利を承諾します。

3. お客様はソフトウェアのバックアップ目的のためのみにソフトウェアを複製することができます。お客様はソフトウェアの改変ならびに逆コンパイル、逆アセンブリ、およびリバースエンジニアリングその他のそれに類する行為を行うことはできません。

4. お客様は、ソフトウェアの内容について本契約期間中およびその終了後も機密として保存し、第三者へ開示しないものとします。

5. ソフトウェアに物理的な欠陥(CD-ROMやフロッピディスクの破損など)があった場合には、お客様が商品を購入した日から９０日間に限り、無償で交換いたします。

6. お客様が商品を購入後９０日以内にソフトウェアの欠陥を発見し返却した場合、オムロンは無償で交換いたします。

7. 上記のソフトウェアの交換は、オムロンのソフトウェア保証責任のすべてを定めるものであり、オムロンはソフトウェアの欠陥により発生した、お客様の直接的、間接的あるいは波及効果よる損害に対しては一切の責任を負いません。

8. ソフトウェアの改変ならびに逆コンパイル、逆アセンブリ、およびリバースエンジニアリングその他のそれに類する行為により、特許権(実用新案権に基づく権利も含む。

以下同じ）または著作権を侵害するものとしてオムロンに使用を許諾している第三者または当該第三者以外からお客様が請求された場合にはオムロンは責任を負いません。

9. オムロンがお客様の損害について責任を負ういかなる場合においても、オムロンの責任はお客様が商品購入代金として支払った金額を超えることはありません。

10. お客様が本契約に違反した場合、オムロンはお客様に通知することによりソフトウェアの使用許諾を終了させることができます。その場合お客様はソフトウェアおよびそのすべての複製物をオムロンに返却しなければなりません。

運用に関するお願い

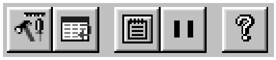
1. 本ソフトウェアは、オムロン株式会社の商品です。
2. 本ソフトウェアおよび本書の内容の全部または一部を無断で流用することは固くお断りいたします。
3. 本ソフトウェアおよび本書の内容については将来、予告なしに変更する場合があります。
4. 本ソフトウェアおよび本書の内容については万全を期しておりますが、万一誤りやお気づきの点がございましたら、当社までご連絡くださるようお願いいたします。
5. 本書に記載した画面などは、実際のものとは一部異なる場合があります。

自動シャットダウンソフト（Power Credit）の メニューバー／ツールバー

メニューバー、ツールバーについて説明します。



《メニューバー》



《ツールバー》

[操作方法]
以下のいずれかの方法で操作します。
- マウスを使用して各メニューをクリックします。
- Altキーとアルファベットキーの組み合わせでキー入力します。
- ツールバーアイコンをマウスでクリックします。

システム <Alt+S>



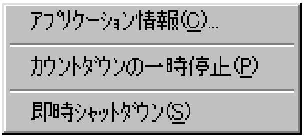
メニュー項目			説　　明
メニュー	ショートカット	アイコン	
環境設定	Alt+C		PowerCredit環境設定ダイアログを表示します。
ｲﾍﾞﾝﾄﾛｸﾞ	Alt+E		PowerCreditイベントログダイアログを表示します。
終了	Alt+X	―	PowerCreditモニターを終了します。

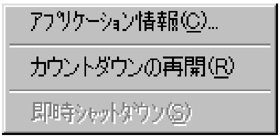
表示 <Alt+V>



メニュー項目			説　明
メニュー	ショートカット	アイコン	
ツールバー	Alt+T	―	ツールバーの表示／非表示を切り替えます。
ステータスバー	Alt+S	―	ステータスバーの表示／非表示を切り替えます。

ツール <Alt+T>





メニュー項目			説　明
メニュー	ショートカット	アイコン	
アプリケーション情報	Alt+C		PowerCredit終了アプリケーション情報を表示します。
カウントダウンの一時停止	Alt+P		停電時遅延時間の一時停止をおこないます。
カウントダウンの再開	Alt+R		停電時遅延時間を再開します。
即時シャットダウン	Alt+S	―	Windowsを直ちに終了したい時に使用します。 **<注　意>** ・カウントダウンの一時停止/再開はカウントダウン実行中のみ有効となります。 ・即時シャットダウンでは、バックアップ電源は停止されません(Windowsのシャットダウンのみです)。お使いのパソコンによっては「コンピュータの電源を切る準備ができました」の表示で停止します。

ヘルプ <Alt+H>



メニュー項目			説　　明
メニュー	ショートカット	アイコン	
PowerCreditヘルプ	Alt+C		オンラインヘルプを表示します。
バージョン情報	Alt+A	―	PowerCreditのバージョン情報を表示します。

保証と修理について

保証について

本書に記載されている「製品保証規定」を必ずお読みになり、本製品を正しくご使用ください。無条件で本製品を保証するということではありません。正しい使用方法で使用した場合のみ、保証の対象となります。また、物理的な破損等が見受けられる場合は、保証の対象外となりますので予めご了承ください。本製品（ドライバーディスクは除く）の保証期間については、保証書に記載されている保証期間をご覧ください。

修理について

故障と思われる現象が生じた場合は、まず取扱説明書を参照して、設定や接続が正しく行われているかを確認してください。現象が改善されない場合は、巻末の「調査依頼書」をコピーしたものに必要事項をご記入の上、保証書を添付し、弊社サポートセンター宛てに製品を送付ください。製品を送付する際は、以下の点にご注意ください。

・ 弊社サポートセンターへ製品を送付する際の送付料金につきましては、お客様のご負担とさせていただきます。尚、運送中の故障や事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
・ 宅配便などの送付状の控えが残る方法で送付願います。
・ 修理期間は、製品到着後、約10日程度（弊社営業日数）を予定しております。
・ 誠に申し訳ございませんが、直接来社されてのサポート依頼は受付けておりませんので、製品は必ず宅配便などでお送りください。

製品送付先
〒222-0033 横浜市港北区新横浜1-19-20
（株）コレガ　coregaサポートセンター宛

corega 製品の情報を知りたいときには

当社のホームページに、最新情報や製品についてのＱ＆Ａなどを掲載しています。どうぞご利用ください。最新のドライバーもこちらから入手することができます。

corega のホームページにアクセスしてください！

http://www.corega.co.jp/

「corega Net-News」のご案内

「corega Net-News」はコレガ社がお届けするメール配信サービスです。新製品情報やキャンペーン、プレゼント情報など、耳よりな情報をお届けいたします。メール配信サービスをご希望のお客さまは、coregaホームページでご登録ください。尚、メール配信サービスはどなたでもご登録いただけます。

ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートは、巻末の「調査依頼書」をコピーしたものに必要事項をご記入の上、下記の番号まで FAXしてください。できるだけ電話による直接の問い合わせは避けてください。FAXによって詳細な情報を送付いただくほうが、電話による問い合わせよりも、より早く問題を解決することができます。記入内容の詳細は、「調査依頼書のご記入のお願い」をご覧ください。

Tel: 045-476-6268
10:00-12:00、13:00-17:00　月〜金(祝・祭日を除く)
Fax: 045-476-6294
※番号はお間違えのないよう、よくお確かめの上ダイヤルしてください。

調査依頼書のご記入のお願い

調査依頼書は、お客様のご使用環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入いただくものです。障害を解決するためにも以下の点にそって、十分な情報をお知らせください。記入用紙で書き切れない場合には、別途プリントアウトなどを添付してください。

ハードウエアとソフトウエア

・製品名、製品のシリアル番号(S/N)、製品リビジョン(Rev)を調査依頼書に記入してください。製品のシリアル番号、製品リビジョンは、製品の底面に貼付されているシリアル番号シールに記入されています。

(例) S/N 0047744990805087 Rev A1

・ご使用になっているソフトウエアの種類／バージョン(Ver.)／シリアル番号を記入してください。それらは、ドライバーディスクのラベル上に記入されています。
・他社のインターフェースボードやユーティリティをご使用の場合は全てご記入ください。
・接続しているサーバーの機種とその環境も可能な限りご記入ください。

お問い合わせ内容について

・どのような症状が発生するのか、またそれはどのような状況で発生するのかを出来る限り具体的に(再現できるように)記入してください。
・エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージ内容のプリントアウトなどを添付してください。
・障害などが発生する場合には、本製品と併用されているユーティリティや、アプリケーションの処理内容もご記入ください。

周辺機器構成について

・本製品を使用するために接続されている他の周辺機器(モニターやマウス、キーボード等)やご使用パソコンの接続状況がわかる簡単な図を添付してください。
・ご使用の周辺機器のメーカー名、機種名、バージョンなどを必ずご記入ください。

3 付録

システムリソースレポート添付のお願い

お問い合わせの際には可能な限り、システムリソースレポート（お使いのパソコンの詳細情報をOSが自動作成するレポート）を出力の上、「調査依頼書」に添付いただきますようお願いいたします。システムリソースレポートを出力する手順は以下の通りです。

(1) コントロールパネルから「システム」を起動し「デバイスマネージャ」タブを表示します。
(2) 「印刷(N)...」ボタンをクリックします。
(3) 「レポートの種類」では「すべてのデバイスとシステムの概要(A)」を選択してください。
以後、画面の指示にしたがってください。

おことわり

・ 本書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
・ 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
・ 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
・ 本装置の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

商標

coregaは、株式会社コレガの商標です。

2001年3月　Rev.A　初版

調査依頼書（corega UPS 250）

年　　月　　日

一般事項

1. 会社名（個人名）：

部署名：　　　　フリガナ：ご担当者：

ご連絡先住所：　〒

TEL：（　　　）　　　FAX：（　　　）

2. 購入先：　　　購入年月日：

購入先担当者：　　　購入先（TEL）：（　　　）

ハードウエアと接続構成

1. ご使用のハードウエア機種（製品名）、シリアル番号、リビジョン

製品名：**corega UPS 250**

S/N____________________ Rev____

2. お問い合わせ内容　　□別紙あり　　□別紙なし

□設置中に起こっている障害　　□設置後、運用中に起こっている障害

3. ご使用のパソコン機種と併用している他の周辺機器（マウス・キーボードなど）

4. 接続概略図　　□別紙あり　　□別紙なし

簡単なもので結構ですからご記入をお願いします。

メモ

メモ

メモ

製品保証規定

■ この製品保証規定は、製品保証書に明記した期間内において、取り扱い説明書などにしたがった正常な使用をしていたにもかかわらず故障が発生した場合に、無償修理をお約束するものです。
- ・ハードウェア本体　：製品保証書に記載の“ 保証期間 ”で無償保証とします。　（但し、本規定の他の条項に準じます。）
- ・電源アダプター/電源ケーブル　：6ヶ月保証
- ・本体付属品（ドライバーディスクなど）　：3ヶ月保証
- ・バッテリー　：3ヶ月保証

■保証期間内の無償修理は、故障製品を弊社までお送りいただき、修理完了品または代替品をお客様に返送することとします。表面の製品保証書に記載された「製品保証に関するお問い合わせ先」まで故障製品を送付してください。送料はそれぞれ送付元負担とさせていただきます。

■保証期間内であっても次の項目に該当する場合は、無償修理の適用外とさせていただきます。（ただし、無償修理の適用外であっても有料での修理または代替品への交換・サービスはご利用いただけます。）
1. 使用上の誤り、または不当な修理や改造によって生じた故障および損傷
2. お買い上げ後の輸送、移動、落下などによって生じた故障および損傷
3. 火災、地震、水害、落雷、その他の天変地異、公害、塩害、異常電圧などの外部要因によって生じた故障および損傷
4. 接続された他の装置が原因で生じた故障および損傷
5. 車両、船舶などに搭載されたことによって生じた故障および損傷
6. 消耗品の交換（バックアップ電池など）
7. 製品保証書の提示がない場合
8. 製品保証書の所定事項に記入がない場合、または字句を不当に書き換えられた場合

■修理によって交換された代替品、不良部品の所有権は弊社に帰属するものとします。

■製品保証規定は、本製品についてのみ無償修理をお約束するもので、本製品の故障または使用によるその他の損害については、弊社はその責を一切負わないものとします。

■製品保証書は、日本国内のみで有効です。

■製品保証書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

製品保証書（1年保証）

この製品保証書は、株式会社コレガが定める製品保証規定（裏面）に基づき、製品の無償修理をお約束するものです。

製 品 名　corega UPS 250
シリアル番号 （S/N）
ご購入日
製品保証に関するお問い合わせ先 **corega サポートセンター** **TEL：045-476-6268　FAX：045-476-6294** 住所：〒 222-0033 横浜市港北区新横浜 1-19-20 受け付け時間：10:00 ～ 12:00/13:00 ～ 17:00 月～金（祝・祭日を除く）
販売店様印

※本保証書にお買い上げ販売店の記名及び押印がない場合は、有償扱いとなりますので予めご了承ください。

※ 製品名、シリアル番号、ご購入日をご記入ください。